平成２７年度事業報告書

平成２８年５月

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

第四次活動推進計画の基本理念、基本目標、推進体系	1
重点事項	5
事業実績	14
基本目標１　地域福祉を支える人づくり	15
実施目標１　住民の意識と主体的な行動力を高めます	15
実施目標２　地域福祉活動の核となる人材を育成します	24
実施目標３　福祉サービスの担い手を確保・育成します	28
基本目標２　地域福祉を支える仕組みづくり	37
実施目標１　住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します	37
実施目標２　支援を必要とする住民の地域生活を支えます	41
基本目標３　地域福祉を支える基盤づくり	52
実施目標１　市町社協を支援します	52
実施目標２　社会福祉事業者を支援します	55
実施目標３　県社協の基盤強化を図ります	57
重点プロジェクト事業	66
巻末資料	68

本報告書は本会「第四次活動推進計画」の理念・体系に基づいて作成しています。

第四次活動推進計画の基本理念

基　本　理　念

「　“共生・支え合い”による地域社会の実現　」をめざし、福祉サービスの質の向上と住民主体の福祉のまちづくりを推進します

「“共生・支え合い”による地域社会の実現」をめざし、個人の尊厳の保持を旨とした福祉サービスの質の向上を図るとともに、住民一人ひとりの自己実現に向けた自助努力と、「他人を思いやり、お互いを助け合おうとする精神」を基礎とする「住民主体」を原則に、行政や多彩な主体と協力して、福祉のまちづくりを推進します。

第四次活動推進計画の基本目標

基本目標１

地域福祉を支える人づくり

地域福祉の基礎となるのは、他人を思いやり、お互いを支え、助け合おうとする心です。本会は、住民の意識と主体的な行動力を高めていくとともに、人と人をつなぎ・支える「地域福祉を支える人づくり」を推進します。

基本目標２

地域福祉を支える仕組みづくり

地域福祉は、住民を主体に行政や多彩な主体が役割分担し、協働していくことが重要です。本会は、自助、共助、公助があいまって、地域に根ざして協働する「地域福祉を支える仕組みづくり」を推進します。

基本目標３

地域福祉を支える基盤づくり

地域福祉は、住民を主体に行政や多彩な主体がつながり、その力を結集していくことが重要です。本会は、県域の地域福祉推進の中核として、「地域福祉を支える基盤づくり」を推進します。

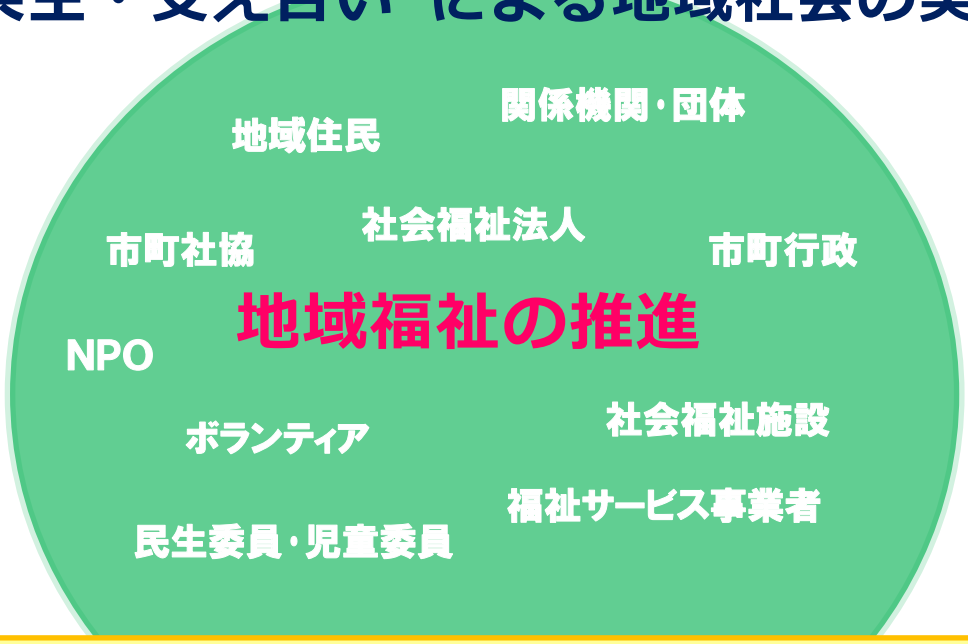
第四次活動推進計画の推進期間

平成２７年４月～平成３２年３月

【推 進 体 系】

めざすべき福祉社会

「"共生・支え合い"による地域社会の実現」



静岡県社会福祉協議会

福祉サービスの質の向上と住民主体の福祉のまちづくりの推進

県社協の機能

- ○広域機能
- ○専門機能
- ○情報提供機能
- ○行政等の補完機能
- ○政策提言・連絡調整機能

基本目標１

地域福祉を支える人づくり

1 住民の意識と主体的な行動力を高めます

2 地域福祉活動の核となる人材を育成します

3 福祉サービスの担い手を確保・育成します

基本目標２

地域福祉を支える仕組みづくり

1 住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します

2 支援を必要とする住民の地域生活を支えます

基本目標３

地域福祉を支える基盤づくり

1 市町社協を支援します

2 社会福祉事業者を支援します

3 県社協の基盤強化を図ります

重　点　事　項

重点事項

基本目標１　地域福祉を支える人づくり

実施目標１　住民の意識と主体的な行動力を高めます

重点事項　“暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施

県民福祉の日(10 月 20 日)を中心に、「心のふれあいや思いやりの気持ちで結ばれた“共生・支え合い”による地域社会の実現をめざす」県民運動を展開し、住民の気づきや地域活動への参加機運の醸成を図った。

	事　業　内　容
1	“暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施 ・福祉のまちづくり絵画コンクールの実施 応募総数 878 作品 最優秀賞、優秀賞等 16 作品を選定、その他入選を 52 作品選定 ・絵画コンクール入賞作品展示会（東部、中部、西部各１か所） ・福祉カレンダーの作成・配布 4,500 本作成、県内全小学校や社会福祉法人等に配布 ・「県民福祉の日」啓発事業　ほか
2	静岡県健康福祉大会の開催（10/16、グランシップ）

平成 27 年度静岡県健康福祉大会
(平成 27 年 10 月 16 日　グランシップ)

実施目標２　地域福祉活動の核となる人材を育成します

重点事項　住民主体の活動を進める人材養成

複合的な課題を抱える人や家族に対して総合的な支援を行う地域福祉コーディネーターや、地域住民が主体となる活動を促し継続的な支援や調整を行う人材を育成した。

	事　業　内　容
1	地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー）養成研修会の開催 Step1（7/28、29）　30 人 Step2（2/19、20）　28 人
2	コミュニティワーク研修会の開催 ・社協の『伝える力』養成編(プレゼンテーション) ・地域アセスメント編 ・社協と福祉施設の連携を考える(ネットワーク)

実施目標３　福祉サービスの担い手を確保・育成します

重点事項　保育士・保育所支援センター設置による保育士確保の促進

今後見込まれる保育士需要の増加に向け、保育士･保育所支援センターを設置し、潜在保育士等の就職を支援した。

	事　業　内　容
1	保育士・保育所支援センターの運営 （就職者数 59 人）
2	就職支援コーディネーターの配置
3	保育士就職説明会の開催 西部（5/31　321 人）、志太（6/7　45 人）、静岡市（7/5　100 人）、東部（7/12　52 人）
4	潜在保育士への情報発信及び県外新卒者への U ターン働きかけ

『しずおか保育の仕事』説明会＜静岡市＞
（平成 27 年 7 月 5 日　ツインメッセ静岡）

重点事項　福祉サービスの担い手の確保の推進

福祉分野における人材確保が一層厳しくなる中、よりきめ細かなマッチングに努めるとともに、福祉の仕事のイメージアップや未来を担う人材の参入促進に向けた事業に取り組んだ。

	事　業　内　容
1	無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） （就職者数 938 人、全国 2 位）
2	福祉の就職＆進学応援フェアの開催 ・春（東部 6/13、中部 6/28、西部 6/20　計 262 人）※土日開催 ・秋（東部 10/30、中部 10/15、西部 10/23　計 109 人）※平日夜間開催 ・冬（東部 3/12、中部 3/5、西部 3/19　計 199 人）※土日開催
3	福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施（小学校 39 回、中学校 84 回、高校 41 回） 福祉のしごと学び体験ツアーの実施 （東部 8/6　30 人、中部 7/28　35 人、西部 7/30　40 人）
4	保護者向け啓発資料の作成（10,000 部）

福祉の就職＆進学応援フェアｉｎしずおか
（平成 27 年 6 月 13 日）
（プラサヴェルデ東部会場）

福祉のしごと学び体験ツアー（東部）
（平成 27 年 8 月 6 日）
（特別養護老人和みの郷）

基本目標２　地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標１　住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します

重点事項　生活支援サービス活性化事業の実施

高齢になっても、障がいがあっても、互いに支え合い、安心して身近な地域で暮らし続けるため、住民主体による生活支援サービスの普及促進を図り、市社協や行政と協働し、生活支援サービスの立上げを支援した。

	事　業　内　容
1	生活支援・介護予防サービス普及啓発事業（静岡県委託事業） 「住民主体の助け合い活動を考えるシンポジウム～生活支援サービス活性化のために～」（講演、実践報告） ・東部会場（11/30）、西部会場　（12/15） ・参加者　各会場　約 200 名
2	住民参加型まちづくり普及促進事業（赤い羽根共同募金助成事業） 「住民参加型の生活支援サービス入門講座、立ち上げ支援講座」 ①島田市における取組（参加者　延べ 93 名） 「いつまでも道悦島地区で安心して暮らしていくための講座」（1/15、3/1、15））（講演、実践報告、グループワーク） ②伊豆市における取組（参加者　延べ 58 名） 「生涯現役！あなたの輝く場～住み慣れた地域でずっと暮らしていくための講座～」（2/17、23、3/8）（講演、実践報告、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ）

実施目標２　支援を必要とする住民の地域生活を支えます

重点事項　福祉サービス利用者の権利擁護

日常生活自立支援事業の専門員及び生活支援員に対する研修等を通じて、きめ細かな相談支援体制の充実強化を図った。

また、静岡県より法人後見実施機関職員研修事業を受託し、成年後見制度業務の推進及び市民後見人の育成・支援組織の体制整備を図った。

	事　業　内　容
1	日常生活自立支援事業の執行体制の充実
2	法人後見・市民後見実施社協連絡会の開催
3	法人後見実施機関職員研修業務の受託 ・成年後見制度市町長申立（支援）に係る実務研修（県内４地区） ・社会福祉協議会のための法人後見実務研修（基礎編・応用編）
4	志太地域成年後見運営委員会
5	日常生活自立支援事業ケースカンファレンスの実施【2 地区】

【法人後見・市民後見実施社協連絡会】

基本目標３　地域福祉を支える基盤づくり

実施目標１　市町社協を支援します

重点事項　市町社協経営基盤の強化

市町社協の経営基盤強化を図るため、「市町社協における会員制度のあり方」を提案するとともに、研修等を通じて、経理事務の適正化や役職員のスキルアップを支援した。

	事　業　内　容
1	「市町社協における会員制度のあり方」の提案 市町社協経営基盤強化検討委員会において、社協活動を支える最も基本的な制度である会員制度のあり方を提案した。
2	市町社協役職員研修の開催 ・市町社協トップセミナーの開催 ・市町社協監事研修会の開催 ・市町社協中核リーダー研修の開催 ・市町社協会計実務、決算実務研修会の開催等

市町社協中核リーダー研修
（平成 27 年６月８・９日）

実施目標２　社会福祉事業者を支援します

重点事項　地域特性に合わせた事業者への支援

住民が安心して利用できる福祉サービスを地域の特性に合わせて展開できるよう、社会福祉事業者の経営基盤の強化や、公益的な活動の取組等を支援した。

また、災害時における要援護者の支援体制のあり方を検討し、大規模災害に備えた施設間の協力体制の構築と専門職派遣の仕組み作りに取り組んだ。

	事　業　内　容
1	民間社会福祉施設運営基金助成事業の実施 詳細は、巻末資料 P81 を参照 助成実績：118 件　20,474 千円
2	福祉施設経営指導事業の実施
3	経営に関する研修会・セミナー等の開催
4	静岡県災害福祉広域支援ネットワーク会議の運営 ア　ネットワーク会議の開催 (10/15, 12/22, 3/4) ・連携協定準則の作成 ・ＤＣＡＴ派遣要請マニュアルの作成 イ　災害時要配慮者支援体制構築セミナーの開催 参加者 155 名（施設関係者、行政、社協等）

災害時要配慮者支援体制構築セミナー
（平成 28 年３月 10 日
ホテルアソシア静岡）

実施目標３　県社協の基盤強化を図ります

重点事項　県社協財政基盤の強化

限られた財源を有効活用するため、公的財源と自主財源確保に努め、経費の使用状況を可視化して全職員で支出削減に取り組んだ。

	事　　業　　内　　容
1	今後の県社協財政状況の試算と検証 ・過去２年の決算書を比較した経営分析と自主財源推移を基に職員研修を実施
2	支出削減への積極的取組の推進 ・固定経費の使用状況を可視化し、職員の節約意識を浸透した ・取引業者見直しによるコストの削減
3	自主財源収入の増加 ・参加費収入　当初予算額 9,295 千円　収入実績 10,750 千円 ・第三者評価事業評価料収入　当初予算額 3,100 千円　収入実績　3,800 千円 ・資料図書頒布収入　当初予算額　842 千円　収入実績　1,213 千円

事業活動計算書 社会福祉事業 財務分析（簡易版）

勘定科目	26年度決算財務分析 (A)	25年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	26年度決算 (C)	備考
＜ サービス活動増減の部 ＞					
＜ 収益 ＞					
会費収益	34,603,112	34,582,096	21,016	34,603,112	
寄附金収益	6,740,558	14,966,895	△ 8,226,337	6,740,558	△ 5,919,000
経常経費補助金収益	1,342,164,670	1,403,027,772	△ 60,863,102	1,342,164,670	
受託金収益	138,105,000	135,979,000	2,126,000	138,105,000	
貸付事業収益	2,959,066	4,589,046	△ 1,629,980	2,959,066	
事業収益	73,221,330	74,240,600	△ 1,019,270	73,221,330	
負担金収益	3,850,000	3,800,000	50,000	3,850,000	
その他の収益（[illegible]）	6,343,640	28,764,478	△ 22,420,838	6,343,640	△ 16,172,880
サービス活動収益計 (1)	1,607,987,376	1,699,949,887	△ 91,962,511	1,607,987,376	1,677,888,007
＜ 費用 ＞					
人件費	214,160,830	207,407,176	6,753,654	229,422,415	
事業費	169,770,828	172,940,422	△ 3,169,594	169,770,828	
事務費	14,841,719	14,595,080	246,639	14,841,719	
助成金費用	1,247,250,250	1,309,892,009	△ 62,641,759	1,247,250,250	
負担金費用（㉕は分担金、参加費含む）	7,993,478	10,044,692	△ 2,051,214	7,993,478	
基金組入額	0	0	0	71,944,584	
減価償却費	2,140,578	3,862,041	△ 1,721,463	2,140,578	
その他の費用（㉕は引当金繰入）	0	11,052,040	△ 11,052,040	1,700,810	△ 11,052,040
サービス活動費用計 (2)	1,656,157,683	1,729,793,460	△ 73,635,777	1,745,064,662	1,718,741,420
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 48,170,307	△ 29,843,573	△ 18,326,734	△ 137,077,286	△ 40,853,413
＜ サービス活動外増減の部 ＞					
＜ 収益 ＞					
受取利息配当金収益	34,143,758	34,148,702	△ 4,944	34,143,758	
有価証券評価益	0	0	0	74,760,824	
その他のサービス活動外収益	5,640,503	0	5,640,503	5,640,503	
サービス活動外収益計 (4)	39,784,261	34,148,702	5,635,559	114,545,085	
＜ 費用 ＞					
支払利息	707,060	1,275,790	△ 568,730	707,060	
有価証券評価損	0	0	0	705,900	
雑損失	0	131,140	△ 131,140	0	
サービス活動外費用計 (5)	707,060	1,406,930	△ 699,870	1,412,960	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	39,077,201	32,741,772	6,335,429	113,132,125	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	△ 9,093,106	2,898,199	△ 11,991,305	△ 23,945,161	△ 8,141,641
＜ 特別増減の部 ＞					
＜ 収益 ＞					
事業区分間繰入金収益	2,687,677	1,229,918	1,457,759	2,687,677	
その他の特別収益	0	0	0	220,828,875	
特別収益計 (8)	2,687,677	1,229,918	1,457,759	223,516,552	
＜ 費用 ＞					
固定資産売却損・処分損	20	233,951	△ 233,931	20	
その他の特別損失	0	0	0	219,128,065	
特別費用計 (9)	20	233,951	△ 233,931	219,128,085	
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	2,687,657	995,967	1,691,690	4,388,467	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	△ 6,405,449	3,894,166	△ 10,299,615	△ 19,556,694	△ 7,145,674
＜ 繰越活動増減差額の部 ＞					
前期繰越活動増減差額 (12)	105,603,212	91,825,046	13,778,166	105,603,212	
当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	99,197,763	95,719,212	3,478,551	86,046,518	
基本金取崩額 (14)	0	0	0	5,000,000	
基金取崩額 (15)	0	0	0	706,900	
その他の積立金取崩額 (16)	10,354,000	9,884,000	470,000	10,354,000	
その他の積立金積立額 (17)	2,816,240	0	2,816,240	2,816,240	
次期繰越活動増減差額 (18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	106,735,523	105,603,212	1,132,311	99,290,178	

☆当期活動増減差額（実質の採算性）(11) ＋ (16) － (17)	1,132,311	13,778,166			2,738,326

－2－

県社協業務理解研修財務分析資料
（平成 28 年 3 月 15 日、17 日）

重点プロジェクト事業

１　「ストップ！子どもの貧困」ネットワークプロジェクト

貧困の連鎖によって、子どもたちの将来が閉ざされることのないよう、多様な機関・団体等がつながり、子どもの貧困対策に向けた仕組みづくりに取り組んだ。

	事　業　内　容
1	子どもの貧困問題に係る現状の把握 ・地域アセスメント（静岡市葵区、焼津市） ・主任児童委員との情報交換（10/29） ・児童館職員との情報交換（3/15） ・学習支援や生活支援、子ども食堂等の取組把握
2	「ストップ！子どもの貧困」セミナーの開催 3/1　グランシップ　約 80 名 基調講演「子どもの貧困問題に対して地域ができること」 実践報告（学習支援、子ども食堂）

「ストップ！子どもの貧困」セミナー
（平成 28 年３月１日）

２　権利擁護を軸とした地域のつながりプロジェクト

地域で生きづらさを抱える人が安心して生活するために、権利擁護の充実を目指して、市町（地域）に向けた働きかけを行うとともに、あらゆる機関がつながりを持ち、支え合う仕組みづくりに取り組んだ。

	事　業　内　容
1	障がい児者関係団体等の協議の場づくり ・障がい者社会参加促進会議の立上げ（7/13） ・障がい者差別解消シンポジウムの開催（12/8） ・障がい者雇用推進検討会の開催（11/13、1/6、3/18） ・企業に対する障がい者の職場定着等の実態調査の実施（企業 150 社から回答）

事　業　実　績

基本目標１　地域福祉を支える人づくり

実施目標１　住民の意識と主体的な行動力を高めます

推進事項１　“暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施

県民福祉の日(10 月 20 日)を中心とした県民運動において、地域における深刻な生活課題の解決や社会的孤立の防止に関する啓発活動を展開した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) “暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施(主に 9～10 月) ア 県民福祉の日に関する広報啓発事業 ①他団体が実施する行事等への協賛 広報紙等への「県民福祉の日」PR 広告の掲載 イベントへの参画 (8/23 フェスタシズウエル、8/29.30 つながる海の日プロジェクト) ②「県民福祉の日」PR 広告のチラシの作成、配布、広報依頼（20,000 枚、県内の社会福祉法人、行政、賛助会員団体・企業等に配布、広報依頼） ③ポスター（A２版）の作成・配布 (3,500 枚、県内の社会福祉法人、行政、賛助会員団体・企業、コンビニ等に配布) ④のぼり旗の作成・設置・配布 (大 12 本、小 50 本を作成し、昨年度作成したのぼり旗と併せて、市町行政、県庁、県健康福祉センター等に配布、設置) ⑤クリアファイルの作成・配布 (10,000 枚、ケアフェスタ等のイベントや研修等で配布) ⑥県庁前立て看板の設置(9/1～9/30 内 19 日間) ⑦シズウエルに横断幕の掲揚(9/17～10/30) ⑧ 「社会福祉しずおか 10 月号（特別号)」の作成・配布 ⑨ マスコミを活用した広報・啓発活動の実施	継続	福祉の諸問題に対する社会的関心の喚起、理解の促進に寄与している。
イ 福祉のまちづくり絵画コンクールの開催 県内小学校等の１年生～６年生の児童を対象に、「やさしさでつながる福祉のまち」をテーマとした絵画作品を募集。応募総数 878 作品 ・最優秀賞、優秀賞等 16 作品を選定し、その他入選を 52 作品選定。 ・最優秀賞、優秀賞を健康福祉大会で表彰(10/16)	継続	

・入選以上の 58 作品を県内３か所で展示 １　西部　磐田アミューズ豊田 10/19～29 日　※11 日間 ２　中部　県庁別館 21 階 11/12～17 日　※6 日間 ３　東部　サンウエル沼津 11/19～12/7　※19 日間		
ウ 福祉カレンダーの作成・配布 上記コンクール入賞作品 16 作品を使用してカレンダーを作成 4,500 本作成、県内全小学校や社会福祉法人等に配布 ※カレンダーには福祉に関する日（県民福祉の日や介護の日等）を書き入れ、その周知と福祉教育等に活用	継 続 〃 〃	
(2) 静岡県健康福祉大会の開催(10/16、グランシップ)		
(3) 各福祉週間等啓発事業		
ア 児童福祉週間 児童養護施設の子どもたちによる鯉のぼり作成、掲揚(5/1～5/11)		
イ 老人週間 地域包括ケアシンポジウム開催(9/7 三島市民文化会館)		
ウ 児童虐待防止月間 第 7 回児童虐待防止静岡の集い（11/14） 講演「子ども虐待を社会で防止する」 （社会福祉法人恩賜財団母子愛育会愛育研究所主任研究員　和田一郎　氏） オレンジリボンたすきリレー（11/14） 富士～県庁		
エ 障害者週間 検討会の実施(7/13) 障がい者の差別解消を考えるシンポジウム （グランシップ 12/8)参加者 237 人 基調講演（弁護士法人つくし総合法律事務所大胡田　誠　氏） ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ（身体障がい者、聴覚障がい者、精神障がい者の３者による発表）		

福祉のまちづくり絵画コンクール審査会
（平成 27 年 9 月 24 日　シズウエル）

推進事項２　市町社協等と協働して住民の主体形成を図ります

１　ボランティア活動推進事業

市町社協ボランティアセンターの支援強化並びに地域活動団体及びＮＰＯ関係団体の活動を支援した。

また東海地震等大規模災害発生時に、適切に対処するため、県内社協の体制整備、職員の資質向上に努めた。

事 業 の 実 績	区分	効果・評価
(1) ボランティア活動推進事業 ア　ボランティアセンター関係団体連絡会の実施 3/3　11 人出席 (NPO 活動センター、市民活動センター、市町社協等) 県総合社会福祉会館シズウエル　ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾋﾞｭｰﾛｰ ・出席者自己紹介 ・所属団体の活動内容の紹介 ・意見交換会	継続	市町社協ボランティアセンターの機能強化及び担当職員や県内ボランティアコーディネーターの資質向上、災害発生時に向けた体制強化、ボランティア活動の活性化、地域課題の解決に向けた活動の活性化など、社会的排除のない地域づくり・人間関係づくりに寄与した。
イ　市町社協担当者会議の実施（１回） 6/5　29 人参加　（男女共同参画センター） 県社協報告「近年の福祉制度改革とボランティア活動をめぐる動向」 講義「市区町村社協ボランティアセンターがめざすもの」 講師：静岡福祉大学教授　清水　将一氏 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾜｰｸ「福祉制度改革におけるボランティアセンターの役割について」 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：静岡福祉大学教授　清水　将一氏	〃	
ウ　ボランティアコーディネーター養成研修の実施 （基礎編：県内１地区、応用編：社協向け、施設向け、ボランティア団体リーダー向け） 【基礎編】7/25　20 人（プラザベェルデ） 講義Ⅰ「今、なぜ、ボランティアコーディネーション力なのか」 講義Ⅱ「ボランティアの理解①」 講義Ⅲ「ボランティアの理解②」 講義Ⅳ「ボランティアコーディネーションの理解①」講義Ⅴ「ボランティアコーディネーションの理解②」３級検定試験 講師:特定非営利活動法人ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ協会理事　唐木　理恵子氏 【施設職員向け】12/3　25 人 （静岡市産学交流センター） 講義「施設のボランティア受入課題とコーディネーションの基本視点」	〃	

グループワーク「合作つづり方」 講師：日本ボランティアコーディネーター協会理事　小野　伸治氏 【社協職員向け】12/7　12 人 （県総合社会福祉会館シズウエル） 講義「ボランティア元年から２０年、ボランティアの活動のいま」 グループワーク「相談内容の見える化、相談者の見える化、関係者の見える化」 講師：日本ボランティアコーディネーター協会理事　疋田　恵子氏 【団体職員向け】12/17　9 人 （県総合社会福祉会館シズウエル） 講義・グループ討議「ボランティア組織の運営～その特徴と傾向～」 講師：日本ボランティアコーディネーター協会理事　小原　宗一氏		
エ　災害支援活動あり方検討会の開催 第 23 回(5/28)　第 24 回(9/30)　第 25 回(3/17)	〃	
オ　県災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ本部・情報ｾﾝﾀｰ設置訓練の実施 8/26 県社協 11 人、ボラ協 8 人、協力者 3 人 県総合社会福祉会館 2 階ボランティアビューロー 県災害ボランティア本部・情報センターの立上（班編成、資機材の調達・設置等）及び市町災害ボランティア本部との災害時用のシステムを使用した情報伝達訓練を実施	〃	
カ　災害ボランティアセンター運営者研修の開催 【全社協共催】 (11/10、11)　参加者：93 人(県内外から参加) 講師陣：山下弘彦　氏 （日野ボランティア・ネットワーク） 北川進　氏 （宮城県社会福祉協議会震災復興支援局主任主査） 髙山弘毅　氏 （群馬県前橋市社会福祉協議会地域福祉課主任） 李仁鉄　氏 （にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長）	新規	 災害ボランティアセンター運営者研修(11 月 10・11 日)
キ　市町社協災害ボランティア担当者会議（8/24） 参加者：36 人 報告①「災害時における初動期の対応について」 講師：にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長　李　仁鉄　氏	〃	

報告②「災害支援のモレ・ムラ・偏りをなくすために」 講師：JVOAD　準備会事務局　明城　徹也　氏 事前アンケート報告・意見交換		
ク　県災害ボランティア本部・情報センター内部研修(8/24) 参加者：36 人(県社協 19、県ボラ協 7、県行政 2 他) 講義「県本部の先遣、初動期支援に必要な視点と取組」 講師：にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長　李 仁鉄 氏 演習「静岡県災害ボランティア本部・情報センターのシュミレーション」	新規	 災害ボランティア本部・情報センター内部研修（８月 24 日）
ケ　災害支援活動を行う県域団体との情報交換会 第１回(7/9)　第２回(3/22)	〃	
コ　常総市災害ボランティアセンターの運営支援 平成 27 年９月関東・東北豪雨災害に係る関東ブロック都県・政令都市社協災害相互支援協定に基づき、３つのクールで計８人(県社協・沼津市社協、藤枝市社協、磐田市社協、袋井市社協職員)を常総市災害ボランティアセンター運営支援のため、職員派遣を行った。	〃	
サ　ふれあい・いきいきサロン研修会（9 月） 【東部】9/14　　72 人（プラサヴェルデ） 【西部】9/15　　37 人（磐田商工会議所） 【中部】9/16　　42 人（県総合社会福祉会館） 県社協報告 「近年の福祉制度とふれあい・いきいきサロン活動をめぐる動向」 パネルディスカッション 「地域の福祉力・つながり力の決め手はサロン」 ワークショップ 「地域のつながり力、見守り力を高めるためのサロンの支援と協働」 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：静岡福祉大学教授　西尾　敦史氏	継続	
シ　社会貢献企業推進セミナーの開催 3/16（山口駅前ビル）約 70 人（関係者含む） 県社協報告「静岡県内企業における社会貢献活動に関するアンケート結果について」 基調講演『企業の社会貢献の“はじまり”と“いま”について』	新規	

講師：静岡文化芸術大学国際文化学科教授　下澤嶽　氏 シンポジウム『企業と地域福祉の「新しい」連携・協働のカタチ』 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　ＣＳＲ・協働コーディネーター　池上 直樹氏 助 言 者　静岡文化芸術大学国際文化学科 教授　下澤　嶽氏 ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ　ウエルシア薬局株式会社 松下　久美子　氏 焼津市社会福祉協議会　豊泉　和希氏		
ス　県内企業における社会貢献活動に関するアンケート １月～２月にかけて県内に事業所を有する企業のうち従業員規模30人以上の企業2,208社に対しアンケートを行った。 回答数：741社　回答率：33.6% 集計の結果、回答企業の７割以上(76.5%)が社会貢献活動に取り組んでいる状況等が把握できた。	新規	
(2) 静岡県社会福祉協議会ふれあい基金事業の実施 ア　県ボランティア協会への助成 ①リフトバス運行事業 ②ボランティア研究集会事業 ③市民活動推進事業 ④「ケアする人のケア」事業 イ　地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業 活動奨励、活動推進事業（先駆的含）、セルフヘルプ活動支援事業、東日本大震災に係る避難者交流活動助成事業、子育て支援実践交流会助成事業 ①募集開始：市町社協、NPO、マスコミ等への周知（平成27年4月～） 県内104団体から申込 ②奨励・助成先の審議 ふれあい基金運営委員会（5/22）審議 53団体の奨励・助成先を決定 活動奨励賞（5団体）、活動推進助成（27団体：先駆的助成4団体含）、セルフヘルプグループ活動支援助成（5 団体）、東日本大震災に係る避難者交流活動助成事業（7団体）、子育て支援実践交流会助成事業（9団体） ③贈呈式（7/3） 奨励・助成団体等49団体、出席 ④奨励・助成総額14,323千円	継続	各団体の活動意欲の向上及び活動充実に寄与した。 ふれあい基金助成事業贈呈式 （７月３日）

(3) ＡＢＣしあわせ基金車両贈呈事業の実施 申込のあった 64 団体について「ABC しあわせ基金運営委員会」(3/18) で審議し、4 団体に決定、車両贈呈式(6/11)を開催した。 寄贈団体 ① 特定非営利活動法人臨床心理オフィスＢｅサポート 寄贈車両：トヨタスペイド ② 特定非営利活動法人まごころサービス静岡東部センター 寄贈車両：スズキワゴンＲ ③ 社会福祉法人青い鳥 寄贈車両：日産ノート ④ 特定非営利活動法人サンサンいわた 寄贈車両：日産モコ	〃	 ＡＢＣしあわせ基金車両贈呈式 （６月１１日）

２　地域福祉教育推進事業

平成 23 年度に策定した「静岡県における地域福祉教育推進に係る基本指針」に基づき、住民主体の地域福祉を進める上での基盤である福祉教育を推進し、子どもからお年寄りまで全ての住民を対象に福祉に対する啓発・活性化を図ることにより、地域住民自らが主人公となった草の根的な「福祉のまちづくり」を進めた。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 地域福祉教育推進事業 静岡県地域福祉教育推進計画の推進 ア　静岡県地域福祉教育推進委員会の開催 (年 4 回) 【第 1 回】5/18 参加者 14 人（愛知教育大学特別教授　増田樹郎氏　他）（県総合社会福祉会館） 本年度事業の説明及び福祉教育副読本活用モデルの検討　他 【第 2 回】7/6 参加者 11 人（愛知教育大学特別教授　増田樹郎氏　他）（県総合社会福祉会館） 福祉教育担当者会議及び福祉教育副読本活用モデルの検討　他 【第 3 回】9/11 参加者 10 人（愛知教育大学特別教授　増田樹郎氏　他）（県総合社会福祉会館）	継 続	住民の地域福祉への関心及び地域活動への参加機運の醸成、住民の地域活動への参加拡大に寄与した。

実施済事業の報告及び実施予定事業、福祉教育副読本活用モデルの検討　他 【第 4 回】1/12 参加者 18 人（愛知教育大学特別教授　増田樹郎氏　他）（県総合社会福祉会館） 福祉教育副読本活用モデル（静岡市、富士市）の検証、平成 27 年度　静岡県地域福祉教育推進セミナーについて　他 イ　地域福祉教育推進セミナーの開催 1/19（山口駅前ビル） 74 人（市町社協、学校関係者、他） 基調講演「学校、地域、施設などが連携した福祉教育の取組み」 講師：大阪教育大学准教授　新崎国広　氏 福祉教育副読本活用モデルの実践報告 報告者：静岡市社会福祉協議会　池谷雄介氏 静岡県立中央特別支援学校　川野実由紀氏 他 パネルディスカッション 「地域ぐるみの福祉教育をめざして」 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ愛知教育大学名誉教授　増田樹郎　氏 助言者：大阪教育大学准教授　新崎国広　氏 パネリスト：天竜厚生会研修センター　横溝智子　氏 袋井市社会福祉協議会　三品陽子　氏 湖山ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院　深沢華子　氏 ウ　市町社協担当者会議の実施 7/27 参加者 31 人（県総合社会福祉会館） 県社協報告「地域福祉教育をめぐる動向」 講義「いま、求められる地域福祉教育の視点について」 講師：愛知教育大学特別教授　増田樹郎氏 情報交換「各市町社協の地域福祉教育の取組みについて」 福祉教育副読本を活用したプログラム実践「ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）」 エ　福祉教育当事者講師研修会 【中部】10/27　参加者 21 人 男女共同参画センターあざれあ 【東部】11/16　参加者 16 人 プラザヴェルデ沼津 【西部】11/17　参加者 22 人 浜松市福祉交流センター 県社協報告：「福祉教育をめぐる動向」		

基調講演：「今、求められる福祉教育の視点について」 情報交換「当事者講師として実践しているプログラム内容等について」 グループワーク「みんなでつくる、当事者講師のプログラム」 講師：愛知教育大学名誉教授　増田樹郎氏		

３　教員免許取得のための介護等体験事業

小学校及び中学校教諭の普通免許証取得希望者に義務付けられている社会福祉施設での介護等体験において、円滑に実習ができるように大学、施設との受入調整業務を行った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1)　「社会福祉施設での介護等体験」の実施 ア　体験申込者数　934 人（42 大学） 申込取消　　1 人 決定者数　933 人（内、辞退 13 人） イ　介護等体験事前指導の実施 静岡大学人文社会科学部・理学部　8/11（44 人） 東海大学海洋学部　12/5（17 人）	継 続	学生の高齢者や障がい児者に対する介護等の体験をとおして、思いやりのある職業人の育成に寄与するとともに、施設側にとっては、学生の受入を通して、サービスの向上につながった。

教員免許取得希望学生の介護等体験

実施目標２　地域福祉活動の核となる人材を育成します

推進事項１　小地域福祉活動リーダーの育成を支援します

小地域福祉活動の推進・まとめ役、実際に活動を担う人（自治会役員や地域活動者等）を養成する指導者を育成した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 小地域リーダー指導者養成事業 富士市大淵地区福祉推進委員会委員（地区社協）が主体となり、福祉教育の啓発活動を実施（大淵第一小学校と湖山リハビリテーション病院の交流事業（既存事業）を活用） 参加者：20 人（富士市大淵地区福祉推進委員会委員、富士市立大淵第一小学校教員、湖山リハビリテーション病院、市社協） 監　修：愛知教育大学名誉教授　増田樹郎氏 【第１回】（事前研修） 10/15（富士市大淵まちづくりセンター） 主旨説明 富士市社会福祉協議会主事　前田沙紀　氏 今までの交流会の経緯 富士市立大淵第一小学校教員　井出恵理子氏 実践内容説明 富士市社会福祉協議会主事　前田沙紀　氏 【第２回】（応用） 11/10（富士市大淵第一小学校） 小学生の授業で、リハビリ中の高齢者との接し方（遊び方）について、講話、グループワークなどを通じて、福祉教育の考えを子ども達に伝えた。 【第３回】（評価） 11/24、26（湖山リハビリテーション病院） 第２回に実施した内容（福祉教育の考えを取り入れた接し方）を子どもたちが実践できたか評価をした。 【振り返り】（振り返り研修） 12/18（富士市フィランセ西館） 実践内容の確認（第1回～第3回）、実践に対する評価（各自）、今後について、全体評価 講師：愛知教育大学名誉教授　増田樹郎氏	継 続	市町社協が主体となって住民養成を行う力の育成と、住民の地域活動の活性化、継続化に寄与した。

推進事項２　地域福祉コーディネーター、社協職員を育成します

複合的な課題を抱える人や家族に対して総合的な支援を行う地域福祉コーディネーターや、地域住民が主体となる活動を促し継続的な支援や調整を行う人材を育成した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1)担い手づくり研修事業 【みんなで支える地域福祉促進事業】 ア　ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ養成研修 Step1（7/28、29）　30 人 講師：日本地域福祉研究所理事（日本社会事業大学准教授）菱沼幹男氏 内容 ①講義Ⅰ「新たな社会福祉システムとコミュニティソーシャルワークの機能」 ②講義Ⅱ「コミュニティソーシャルワークのプロセスと技法」 ③ワークショップⅠ「コミュニティソーシャルワーク視点による個別課題アセスメント」 ④ワークショップⅡ「コミュニティソーシャルワーク視点による地域アセスメント」 ⑤ワークショップⅢ、Ⅳ「コミュニティソーシャルワークの実践プランニング」 Step2（2/19、20）28 人 講師：日本地域福祉研究所 菱沼幹男氏（日本社会事業大学准教授） 青山登志夫氏（日本地域福祉研究所主任研究員） 大島隆代氏（浦和大学講師） ①グループコンサルテーション ②実践報告 報告者：瀧 美由紀 氏（富士市東部地域包括支援センター センター長） ③ネットワーク会議のロールプレイ イ　ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ養成研修受講者継続研修（7/10）30 人 講師：日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男　氏 内容 ①講義：事例検討の視点と方法 ②事例検討（2 事例） 事例提供者 ・静岡市社会福祉協議会 静岡市暮らし・しご	継 続	地域の生活課題を解決するための住民主体の地域福祉活動の活性化や住民と様々な関係者とのネットワークの構築、地域福祉推進の中核的役割を果たすための社協の職員基礎スキル向上に寄与した。 地域の多様な生活課題を受け止めるための社協の総合相談機能の強化につながった。

と相談支援センター　主任相談支援員 安藤 千晶　氏 ・川根本町社会福祉協議会　専任職員 三浦　明奈　氏 ウ　コミュニティワーカー養成研修 ①コミュニティワーク研修会 ～社協の伝える力養成編～の開催(8/3) 参加者：13 人 事例報告 「富士宮市社協における出張商店街の取組」 富士宮市社会福祉協議会　橋村秀秋 氏 対話型講義 「社会福祉協議会職員に必要な プレゼンテーションのスキルについて」 講師：(特非)国際プレゼンテーション協会 副理事長 脇谷聖美 氏 ②市町社会福祉協議会地域福祉担当者会議 ～社協と社会福祉施設の連携を考える～ の開催(9/3) 参加者：21 人 基調講演「地域福祉ネットワークの 充実に向けた連携について」 講師：天竜厚生会　理事長　山本たつ子　氏 報告「社協と社会福祉施設の連携について」 事例報告者 寿康会 徳風園 施設長 若林久美子 氏 天心会 竜爪園 文殊園長 齊藤文彦 氏 ③コミュニティワーク研修会 ～地域アセスメント編～の開催(10/26) 参加者：13 人 講義「地域アセスメントの理論と方法」 講師：駒澤大学 文学部 社会学科 准教授　川上富雄 氏 報告「座間市社協における地域アセスメント」 座間市社会福祉協議会 地域福祉班 班長 主任 小林孝行　氏 演習「地域アセスメントの手法を学ぶ」 講師：駒澤大学 文学部 社会学科 准教授　川上富雄 氏		

推進事項３　民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりとリーダー層の研修を実施します

民生委員・児童委員活動と社協活動の連携強化を図るため、活動の基盤である法定地区民児協の活動を支援するとともに、民生委員・児童委員が住民の身近な相談・支援者としての役割を担うための研修を開催した。

また、市町民児協事務局、県・市町行政、市町社協との合同会議を開催した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 民生委員・児童委員のための相談技法に関する研修会の開催 7/29　参加者 66 人（東部地区） 7/30　参加者 35 人（中部地区） 7/31　参加者 52 人（西部地区）	継 続	相談援助にあたる際の基本的な知識・技術の習得、向上につながった。
(2) 法定地区民児協会長研修会の開催 9/28～29　参加者 149 人 （ヤマハリゾートつま恋　(掛川市)）	〃	
(3) 主任児童委員研修会の開催 1/28　参加者　86 人	〃	
(4) 災害時要援護者セミナーの開催 12/8　参加者　79 人	〃	
(5) 全国民生委員・児童委員大会等参加費助成事業の実施	〃	社会福祉協議会との連携の重要性について、再確認の場につながった。
(6) 市町法定地区民生委員児童委員協議会への講師派遣 ①焼津市民生委員児童委員協議会(4/16) ②函南町民生委員児童委員協議会(5/8) ③富士宮市民生委員児童委員協議会 中部第２地区(8/4) ④焼津市民生委員児童委員協議会 大井川南地区(8/18) ⑤富士市民生委員児童委員協議会(9/15) ⑥伊豆市民生委員児童委員協議会(11/4) ⑦下田市民生委員児童委員協議会(2/26)	〃	
(7) 県民生委員児童委員協議会の事務受託	〃	

民生委員・児童委員のための相談技法に関する研修会
（平成 27 年 7 月 29・30・31 日開催）

実施目標３　福祉サービスの担い手を確保・育成します

推進事項１　福祉・介護現場の魅力ややりがいの発信と、きめ細やかな就労支援により、より多くの就労につなげます

１　福祉サービスの担い手の確保の推進

今後、益々拡大していく福祉・介護ニーズに対応していくためには、必要な福祉・介護サービスを提供する人材の安定的確保が重要であることから、福祉・介護職場の魅力ややりがいを積極的に発信するとともに、求人・求職のマッチングをきめ細やかに行うなど、求人事業所及び求職者を支援した。

福祉のお仕事魅力発見セミナーの様子
（平成 27 年 7 月 6 日　静岡市立大里東小学校）

<table>
<tr><th>事 業 の 実 績</th><th>区　分</th><th>効果・評価</th></tr>
<tr><td>(1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所）
<table>
<tr><th>年度</th><th>求人登録数</th><th>求職登録数</th><th>就職者数</th></tr>
<tr><td>25 年度</td><td>7,604 件</td><td>2,911 件</td><td>632 人</td></tr>
<tr><td>26 年度</td><td>9,392 件</td><td>3,251 件</td><td>643 人</td></tr>
<tr><td>27 年度</td><td>9,856 件</td><td>3,260 件</td><td>621 人</td></tr>
</table></td><td>継　続</td><td>人材確保が難しくなっている中、相談員によるきめ細かい求人･求職相談を行った。浜松市福祉人材バンクを含めた静岡県全体の就職者数は 938 人に上った。</td></tr>
<tr><td>(2) 社会福祉人材センター運営委員会の開催
5/21　クーポール会館</td><td>〃</td><td></td></tr>
<tr><td>(3) 広報・啓発推進事業の実施
ア 広報
テレビＣＭ作成　民放４局　計 193 本
イ リーフレット 6,000 部発行
ウ 社会福祉アクセスガイド　3,000 部発行
エ 人材センター利用の手引き　2,000 部発行
オ 求人の手引き　1000 部発行
カ 人材センター年報　150 部発行
キ イメージアップ冊子
「シアワセノレンサ」7,000 部発行
ク ホームページの公開サービスの実施（随時）
ケ 求人票登録ガイド　1,000 部発行</td><td>〃</td><td>テレビＣＭの放送、フリーマガジンによる情報提供等により、広く県民に広報・啓発を行い、福祉・介護の仕事に対するイメージアップや人材センターの周知につなげた。</td></tr>
</table>

(4) 福祉の就職支援セミナーの開催 求職者を対象に福祉の仕事に対する理解促進と就職活動の支援を目的としたセミナーの開催 福祉の就職支援セミナー＆ミニ就職相談会 会場：静岡県総合社会福祉会館 第１回：10/20、10：00～15：30 第１部：「福祉の就職活動の心得」 コーチングアカデミー静岡校　校長 酒井美保 氏 第２部：「福祉現場からのメッセージ」 第３部：「福祉のミニ就職相談会」 第２回：11/19、10：00～15：30 第１部：「知って役立つ労働法」 静岡労働局総務部企画室　企画室長 赤池 義規 氏 第２部：「福祉現場からのメッセージ」 第３部：「福祉のミニ就職相談会」 参加者：計 57 人	継　続	就職支援セミナーとミニ就職相談会を同日に行うことにより、福祉職に対する理解促進と就労支援の連携を図った。セミナー参加者 57 人のうち求職中の方は 37 人、そのうち 12 人が福祉職に就職した。
(5) 福祉の就職・進学フェアの開催 福祉職場への就労希望者のための就職フェアと、福祉系学科等への進学希望者を対象とした進学フェアの同時開催 ア 福祉の就職&進学フェア in しずおかの開催 ① 東部　プラサヴェルデ（6/13　88 人） ② 西部　アクトシティ浜松（6/20　49 人） ③ 中部　グランシップ（6/28　125 人） イ 福祉の就職＆進学フェア～秋の収穫祭～ ① 中部　静岡音楽館 AOI（10/15　42 人） ② 西部　アクトシティ浜松（10/23　23 人） ③ 東部　プラサヴェルデ（10/30　44 人） ウ 福祉の就職&進学応援フェア ① 中部　グランシップ（3/5　79 人） ② 東部　プラサヴェルデ（3/12　55 人） ③ 西部　アクトシティ浜松（3/19　65 人）	〃	参加者数は前年に比べ春は 17%増となったが、秋は 26%減であった。しかし冬は中部のみ女性限定の相談会も併せて行ったこともあり 31%増となった。年間の参加者総数は、前年比 9%増であった。 養成校を卒業後、介護職として働く職員の体験談は参加者から今後の参考になったと評価を得た。
(6) 福祉・介護人材確保実践セミナーの開催 シズウエル 703 会議室（11/24　85 人） ＜第一部＞ テーマ：人材確保・定着に向けて法人間連携により課題解決を目指す 講　師：リガーレ暮らしの架け橋グループ本部 地域密着型総合ケアセンターきたおおじ 代表　　山田 尋志　氏	〃	小規模法人の連携による人材の確保・定着支援に関する取組の実例や新卒学生の就職活動に関する動向等についてのセミナーを実施し、職場環境の改善や職員の処遇改善に向けた経営者の意識改革に寄与した。

＜第二部＞
テーマ：優秀な人材確保のために実践すべきこと
講　師：大学新聞社東京教育事業部企画広報開発課
マネージャー　　内田 琢二　氏

(7) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの開催　　継　続

（４月～３月　県内小学校・中学校・高等学校）
県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施
実施状況

校種別	種別	申込数		実施数	
		校数	回数	校数	回数
小学校	公立	18	39	18	39
	私立	0	0	0	0
	計	18	39	18	39
中学校	公立	31	74	31	74
	私立	4	10	4	10
	計	35	84	35	84
高等学校	公立	10	19	10	19
	私立	9	22	9	22
	計	19	41	19	41
合　計		72	164	72	164

上半期で年間実施目標回数150回の97%の申込があり、将来を担う世代の福祉・介護への参入促進に寄与している。

・アンケート結果
（小学生）
セミナー受講後、福祉の仕事に興味を持った。…83.6%
（中学生）
セミナー受講後、福祉や福祉職への興味・関心が高まった…86.1%

(8) 福祉のしごと学び体験ツアー　　〃

（７月～８月　県内３地区）
中・高生等を対象に介護分野を含む福祉現場の見学や体験のツアーを実施

高齢・障がい・就労支援施設や保育園等、様々な福祉分野への見聞を広め、より福祉への関心を深める機会となった。

＜実績＞

地区	日程	法人名	参加人数
東部	8/6(木)	(福)信愛会・(財) 復康会	30 人
中部	7/28(火)	(福)清水あすなろ福祉会	35 人
西部	7/30(木)	(福)和光会	40 人
計			105 人

(9) 保護者向け啓発資料の作成、配付　　〃

小学生・中学生・高校生の保護者に福祉の仕事に対する正しい情報を提供し、イメージアップを図る
『職業「ふくし」』10,000 部

(10) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施　　〃

ア キャリア支援専門員の設置　３人
（平成 27 年４月１日～平成 28 年３月 31 日）

キャリア支援専門員による各種マッチング機能強化事業により、計 172

①ハローワークへの出張相談 96 回、施設・事業所訪問 203 か所、求職者・求人者への個別支援等を実施

②大学等での福祉の仕事ガイダンスの実施

大学４回（３校）、短大２回、専門学校１回、高等学校１回、中学校１回

③介護職員養成機関でのガイダンスの実施

介護職員初任者研修実施機関　７回

介護職員実務者研修実施機関　１回

④他組織主催の就職フェア等への協力　14 回

イ アドバイザーの設置

（公認会計士、社会保険労務士に委嘱）

人事管理や労務管理及び経理事務等に関する専門的な相談会の実施

＜相談件数＞　（単位：件）

区　分		東部	中部	西部	計
公認会計士	事業所	－	123	－	123
社会保険労務士(3 名)	事業所	4	31	16	51
	従事者	6	4	1	11
	社労士計	10	35	17	62

ウ 進路指導相談の実施

高校の進路指導担当教員に対するセミナーを企画したが申込みが無かったため、就職フェアの場において、高校進路担当者との意見交換を実施した。

エ 伊豆半島就活キャラバンの開催

伊豆地域で近隣事業者の就職相談会を開催

①伊東会場　伊東市観光会館(9/12　１人)

②下田会場　道の駅開国下田みなと(9/13　１人)

オ ミニ就職相談会の開催

緊急の求人情報(確保要望)に対応するため、毎月、本所・東部支所において開催

場所	開催回数(回)	参加法人(法人)	求職者数(人)	延相談数(人)	採用人数(人)
中部	12	140	244	464	24
東部	11	148	309	554	45
計	23	288	553	1,018	69

カ 要支援者等求職開拓連携訪問の実施

ひきこもり等の社会的課題を抱えた方を支援する団体等を訪問し、求職者の状況等について意見交換等を実施した。

人の採用につながった。

求職者の確保に課題はあるが、伊豆地域での民間就職フェアの開催はなく、事業者からは継続要望があった。

小規模な相談会の開催により緊急性の高い求人のマッチングの向上を図った。

「障がいのある人の就職応援事業（県委託事業、受託業者：有限会社エムオーネット)」と連携し、訓練生 12 人のうち６人が求職登録した結果、１人が介護職として採用さ

れた。(ほか５人は清掃員等で自己就職)

(11) 福祉の職場体験事業の実施

（４月～３月上旬　県内の介護施設等）

福祉・介護の職場に就職を希望・検討する求職者や福祉系学校に進学希望・関心のある中学生以上の学生を対象にした職場体験（1 人 10 日間まで）

平成 27 年度実績

地　　区	東部	中部	西部	合計
延受入施設（箇所）	165	62	42	269
体験人数（実人数）	150	45	32	227
延体験日数（日）	451	158	120	729
採　用　者（人）	35	15	10	60

継　続

原則、介護分野のみの体験となったことも影響し、前年比 70.3%と低調であったが、福祉職に就職した 60 人のうち、23 人が職場体験をした事業所に採用された。福祉職への理解促進と人材誘導に寄与した。

(12) 保育士・保育所支援センターの運営

ア　就職支援コーディネーターの配置

① 事業所の保育士募集、求人に関する相談対応

② 潜在保育士の就労に関する相談対応

③ 求職者のニーズに合った就職先の紹介、斡旋

④ 保育士資格の取得等に関する相談対応

（平成 28 年 3 月末現在）

新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数
456 件	1,057 人	59 人

イ　就職説明会の開催（年４回）

地　区	会　場	開催日	参加人数
西　部	アクトシティ浜松	5/31（日）	321 人
志　太	藤枝市文化センター	6/7（日）	45 人
静岡市	ツインメッセ静岡	7/5（日）	100 人
東　部	プラサヴェルデ	7/12（日）	52 人
合　計			518 人

ウ　潜在保育士への情報発信及び県外新卒者へのＵターン就職働きかけ

①潜在保育士の情報発信

県から提供された「静岡県保育士登録データ」を基に、県内 20,000 人に保育士・保育所支援センターの周知及び求職登録勧奨を行った。

項目	静岡県分	静岡市分
発送日	平成27年5月～6月末	平成 27 年 10 月 26 日～27 日

〃

前年同期比で相談会参加人数 9%増と保育所の人材確保に一定の効果を上げている。

発送数	15,000 件	5,000 件
抽出した保育士の年齢	25～31 才、 35～53 才	25～66 才未満
返戻件数	2,698 件	819 件
登録者数	126 件	44 件

②県外新卒者へのＵターン働きかけ

訪問先：県外保育士養成校（30 校）
主に神奈川県・東京都・愛知県

内　容：当センターの案内
県内保育所整備状況について
県内出身学生の当センターへの求職登録の案内、保育就職説明会の案内等

継　続

新入職員が福祉職場で働くことの意義ややりがい、誇りを自覚し、モチベーションを高めた。また、参加者同士の仲間づくりを意識づけることで、職場への定着を図った。

(13) 静岡県福祉職合同入職式の開催

ア 合同入職式

県内福祉施設に次年度４月採用の新規入職者を対象にした合同入職式の開催

	開催日	会　　場	参加者 (法人数)
東	3/10（木）	沼津リバーサイドホテル	44（16）
中	3/9（水）	グランディエールブケトーカイ	64（21）
西	3/7（月）	ホテルクラウンパレス浜松	30（10）
計			138（47）

＜内容＞

・式典

・記念講演「こころ元気に仕事をするには」
講師：こころ元気研究所　所長　鎌田　敏　氏

・参加者グループ交流会

福祉職合同入職式の様子
（平成 28 年 3 月 9 日ｸﾞﾗﾝﾃﾞｨｴｰﾙﾌﾞｹﾄｰｶｲ）

イ フォローアップセミナー 開催日:12/8　会場:静岡音楽会 AOI 合同入職式参加者を対象としたセミナーと交流会の開催（講義・グループワーク） 参加者：70 人（26 法人） 講　師：（福）小山町社会福祉協議会 常務理事兼事務局長　原　秀人　氏		
(14) 介護福祉士修学資金貸付事業 介護福祉士養成施設に在学する者及び実務者研修受講者への修学資金の貸付 貸付者 82 人（内、実務者研修受講者４人） ※平成 27 年度の貸付は県が主体で実施し、事務のみを受託した。	継　続	

２　インターンシップ制度の実施

学生が自分の適性や適職を考える機会を提供するため、インターンシップの受入を行った。

事 業 の 実 績	区　分	効果・評価
(1) インターンシップの実施（８～９月） 第１期　8/11～8/27　４名（常葉大学３名、静岡県立大学１名） ・居場所を中心としたプログラムを実施 第２期　8/27～9/15　５名（常葉大学４名、静岡県立大学１名） ・福祉教育副読本、生活困窮者自立支援制度を中心としたプログラムを実施	継　続	学生に成長の機会を提供するとともに、県社協及び福祉業界のＰＲを図ることができた。

推進事項２　人材の育成と職場への定着のため、働きやすい職場環境をつくります

１　各種研修の実施

高い志を持って福祉・介護職場に就職しても、職場内の人材育成システムが十分でないことや、将来展望ができないことから離職する例が生じています。

そこで、福祉・介護職員を対象とした外部研修実施機関として階層別・テーマ別の研修会を開催するとともに、人材育成の基本である職場内研修を支援した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 福祉・介護職員等を対象とした研修会の開催 研修計画に基づき 64 本の研修実施	継 続	福祉・介護職員に必要とされる組織力・専門技術力・人間力の習得を通じて、サービスの質の向上や職員の職場定着に　寄与した。
(2) 施設・事業所が行う職場内研修の支援 ・事業所のニーズに応じた講師の紹介等、関連情報の提供している。 ・職場内研修担当者を主な参加者とする電子メールのメーリングリスト「職場内研修・交流サロン」による情報交換・共有している。	〃	職場内研修のニーズに応じた講師の紹介等により、職場内研修の充実に寄与した。
(3) 研修受講申込みのＷＥＢサービス利用促進 本会ホームページ上から研修受講の申込みができるサービスを会員に提供している。	〃	会員施設・事業所の事務の効率化や経費の削減に寄与した。
(4) 県ホームヘルパー連絡協議会の事務受託 一般研修会及びサービス提供責任者研修会を計８回開催	〃	訪問介護職員の資質向上及び連携強化に寄与した。

県ホームヘルパー連絡協議会　第２回サービス提供責任者研修会
（平成 27 年９月 17 日）男女共同参画センター

２　社会福祉事業等における福利厚生の推進

「社会福祉法人福利厚生センター」の福利厚生事業事務を受託し、福祉の職場で働く人の福利厚生を支援し、魅力ある職場づくりに寄与した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) (福)福利厚生センター静岡県事務局の受託 ア　業務推進委員会の開催(10/30、3/8) イ　会員交流事業（64 事業）の実施 ウ　地域開発メニュー充実事業の実施	継 続	施設職員の職務に対する意欲向上及び施設職員の定着率の向上につながった。 会員数が横ばいであり、更なる加入促進を図っていく。

福利厚生センター会員交流事業（東京ディズニーシー・パーク・ファン・パーティー）
（平成 27 年 11 月 29 日）

基本目標２　地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標１　住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します

推進事項１　小地域福祉活動の推進や基盤整備を市町社協と協働して取り組みます

１　居場所づくり推進事業

孤立予防や子育て支援にとどまらず、安心・安全のまちづくりや街の活性化等への広がりが期待される「居場所づくり」について、実践者の養成と関係者のさらなる意識の向上を図った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 静岡型地域の居場所創造事業の実施 居場所づくり実践者養成研修 ※川根本町社会福祉協議会と共催 参加者　各会場　約 30 人（11/16、12/22、3/10） １　講義「山村における高齢者の『居場所づくり』と『地域包括ケア』」 （静岡大学　名誉教授　小櫻　義明　氏） 実践報告　コミュニティカフェ“悠遊” （勝俣　信一　氏） ２　視察　松崎・であい村「蔵ら」（松崎町） ３　実践報告　活き生きサロン　寄ってっ亭 （代表　藤下　品子　氏） 町内の取組　①徳山居場所「さつき会」 ②瀬平居場所	継 続	居場所づくりの促進に向け、住民意識の向上や新たな担い手の掘り起しにつながった。 居場所実践者の課題や先進事例を共有することで、連携強化を図ることができた。
(2) 居場所づくり実践者交流会＆研修会(3/2) ※さわやか静岡　静岡県と三者共催 ・県内居場所実践者リレー発表（12 団体） ・ランチセッション（惣菜、手芸品等展示・販売） ・講演「地域高齢者の力を活かす居場所の取り組みについて」～街中サロンなじみ庵の実践をとおして～	〃	

２　生活支援サービス活性化事業

高齢になっても、障がいがあっても、互いに支え合い、安心して身近な地域で暮らし続けるため、住民同士の支え合い活動や生活支援サービスの立上げ支援を行い、住民主体の生活支援サービスの活性化を図った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 生活支援・介護予防サービス普及啓発事業 「住民主体の助け合い活動を考えるシンポジウム」 東部会場　プラサヴェルデコンベンションＢ(11/30) 西部会場　浜松クリエイトホール(12/15) 各会場　参加者　約 200 人 テーマ「生活支援サービス活性化のために」	新 規	支え合い活動の必要性について、住民意識の向上を図ることができた。 住民主体の支え合い活動の活性化を図り、住民参加型生活支援サービス

内　容　①基調講演(講師 神奈川県立保健福祉大学 中村美安子准教授) ②実践報告（各会場３事例） ボランティアグループ　すずの会　代表 鈴木　恵子　氏　(川崎市）他		の普及、促進につなげることができた。
(2) 住民参加型まちづくり普及促進事業 １　住民参加型の生活支援サービス入門講座 ①島田市における取組（参加者 56 人） 「いつまでも道悦島地区で安心して暮らしていくための講座」(1/15) 基調講演(静岡福祉大学 清水教授)、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ ②伊豆市における取組（参加者 21 人） 「生涯現役！あなたの輝く場～住み慣れた地域でずっと暮らしていくための講座～」(2/17) 講義(伊豆市梅原氏/㈱LC ウェルネス 見野代表) ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ（NPO 法人 E&C 静岡） ２　生活支援サービス立ち上げ支援講座【実践編】 ①島田市における取組（参加者 36 人、27 人） (3/1、15) 実践報告（磐田市長野地区生活応援ｸﾗﾌﾞ） (平塚市金田地区町内福祉村) ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ「支え合い活動のアイデア」 ②伊豆市における取組（参加者 22 人、15 人） (2/23、3/8) 実践報告　㈱LC ウェルネス 見野代表 (春野町、現役っこクラブ) ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ「小さい活動への提案、地域づくりを考える」	新 規	
(3) 静岡県主催「生活支援コーディネーター養成研修」への講師派遣 講義：高齢者に係る地域アセスメントの手法　他 第１回 9/15～16（プラザおおるり） 10/1～2（プラサヴェルデ） 第２回 2/4～5（プラザおおるり） 2/9～10（プラサヴェルデ）	〃	

３　みんなで支える地域福祉促進事業

市町社協から提案のあった事業を支援するとともに、小地域福祉活動を推進する担い手づくりの研修を実施した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 小地域リーダー指導者養成事業【再掲】 （市町社協職員対象） (2) 担い手づくり研修事業【再掲】 【みんなで支える地域福祉促進事業】 ア　コミュニティソーシャルワーカー養成研修 イ　コミュニティソーシャルワーカー養成研修受講者継続研修 ウ　コミュニティワーカー養成研修（社協の伝える力養成編、社協と社会福祉施設の連携を考える、地域アセスメント）	継 続 〃	地域特性に応じた小地域福祉活動の活性化につながった。

４　ふじのくに型福祉サービス推進事業

年齢や障がいの有無にかかわらず、また制度や窓口の垣根を超えて誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような「ふじのくに型福祉サービス」(居場所、共生型福施設、ワンストップ相談)を推進した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) ふじのくに型実践者派遣事業の実施 実践者派遣 21 件 (2) 草の根セミナー(マッチング)事業の実施 有識者、関係機関による検討会（11/26） 草の根セミナー ①講演『ケアの「科学」と「クリエイティビティ」』 ワークピア磐田(参加者 164 人)　(1/27) 講師（株）恋する豚研究所代表取締役/（福)福祉楽団常務理事　飯田　大輔　氏 プレゼン団体 社会福祉法人八生会　ゆやの里・梅花の里 「特養、経費老人ホームの空きスペースを活用した居場所」※土曜日の子どもの預かりなど ②講演「富山型デイサービス NPO 法人ふらっとの実践」牧之原市総合健康福祉センターさざんか（参加者 110 人）(2/16) 講師　NPO 法人ふらっと代表理事 宮袋 季美 氏	継 続 〃	ふじのくに型福祉サービスの普及、啓発により、新たな地域活動の創出及び活性化につながった。

プレゼン団体 憩の家　みち 「通所介護事業所の空きスペースを活用した居場所」※障がい者、引きこもりの方を中心とした居場所		

推進事項２　地域における災害時要援護者の支援体制づくりを関係機関・団体と連携・協働して取り組みます

県民の最大の関心事である「防災・防犯」をキーワードに、地域における「声掛け・見守り活動」を通じて、地域のつながりを再構築するとともに、災害時における要援護者の支援体制のあり方を検討した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 災害時要援護者支援に係る実践事例の収集・提供	継 続	災害時における支援活動の円滑化につながった。
(2) 県災害ボランティア本部・情報センターの運営訓練の実施(8/26)【再掲】	〃	
(3) 県災害ボランティア本部・情報センター内部研修(8/24)【再掲】	新 規	
(4) 社協災害ボランティア担当者会議(8/24)【再掲】	〃	
(5) 災害支援活動を行う県域団体との情報交換会 第１回（7/9）　第２回(3/22)【再掲】	〃	
(6) 全社協・災害ボランティアセンター運営者研修(11/10～11)【再掲】	〃	
(7) 大規模災害発生時における災害ボランティア活動拠点に関する覚書書」締結式 ア　静岡県、静岡県ボランティア協会、静岡県労働金庫及び県社協（9/16） イ　静岡県、静岡県ボランティア協会、静岡県信用金庫協会及び県社協（9/25）	〃	
(8) 災害時における「生活福祉資金の貸付けの特例措置に関する協定」実施要領に基づく連絡会開催【再掲】	継 続	
(9)静岡県災害福祉広域支援ネットワークの構築 ア　ネットワーク会議の開催(10/15, 12/22, 3/4) ・連携協定準則の作成 ・ＤＣＡＴ派遣要請マニュアルの作成 イ　災害時要配慮者支援体制構築セミナーの開催 参加者 155 名（施設関係者、行政、社協等）	〃	大規模災害に備えた施設間の協力体制の構築と専門職派遣の仕組みづくりにつながった。

実施目標２　支援を必要とする住民の地域生活を支えます

推進事項１　生活困窮者の理解促進と自立支援の仕組みづくりへの支援

１　生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに、地域における自立・就労支援等体制を構築することにより、生活困窮者の自立を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム 県社協、NPO 及び 12 町社協の 14 法人によるコンソーシアム方式での郡部における生活困窮者自立支援事業の受託	新規	社協ならではの生活困窮者自立支援事業の展開に向けた連携の場づくりにつながった。
(2) 生活困窮者自立支援事業受託社協連絡会の開催（7/30） ①生活困窮者自立支援事業　担当者会議 ②講義：「自立相談事業の実務理解」 講師：富士宮市福祉総合相談課長　土屋　幸己　氏 事例提供者：西伊豆町社会福祉協議会 相談支援員　渡邉　初美　氏 	〃	
(3) 生活困窮者自立支援事業ブロック連絡会の開催 第１回：県下５ブロックに分けて、事例検討等を実施 （賀茂 9/15、中部 9/30、東部 10/5、伊豆 10/6、西部 10/19） 	〃	
(4) 静岡県主任相談支援員養成研修修了者連絡会の開催 第１回：伝達研修の企画等（10/20）	〃	
(5) 生活困窮者支援を通じた地域づくり 賀茂１市５町社協会長、梓友会理事長、県社協会長の８者が生活困窮者自立支援に係る連携・協働協定に調印(1/21) ＜協定内容＞ 生活困窮者の早期把握や見守り、福祉施設内での支援付き就労体験や中間的就労、就労に必要な資機材の貸与、協議・連絡会の開催 	〃	社会福祉法人の地域公益的取組に向けて、県域に普及する契機となった。

２　生活福祉資金貸付事業

生活困窮者自立支援施策の一つである生活福祉資金貸付事業を、市町社協をはじめ、民生委員・児童委員及び行政等関係機関と連携して推進した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 生活福祉資金貸付事業の実施 ア 総合支援資金 （生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費） イ 福祉資金（福祉費、緊急小口資金） ウ 教育支援資金（教育支援費、就学支度費） エ 不動産担保型生活資金 （不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金）	継 続	低所得世帯等の経済的自立及び生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加に寄与した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(2) 臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施 （住居を失った離職者が公的給付又は公的貸付の交付を受けるまでの生活費の貸付）	継 続	住居のない離職者等の一時的な生計を維持した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(3) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催（8/28）	継 続	貸付原資の有効活用とともに、事業の円滑化に寄与した。
(4) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会、不動産担保型生活資金審査委員会の開催（7/22, 10/7, 11/20, 3/8）	〃	
(5) 市町社協新任担当職員研修会の開催（4/22）	〃	
(6) 市町社協担当職員研修会（会議）の開催（5/25）	〃	
(7) 生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会の開催（5/21、3/1）	〃	
(8) 利用促進のための広報の実施	〃	
(9) 債権管理・償還相談の実施 ア　滞納者に対する督促状の送付（8 月, 2 月） イ　滞納者への訪問調査の実施（6 月～3 月：1, 087 世帯） ウ　所在不明者の調査（住民票調査）の実施（随時：553 件） エ　滞納債権整理推進等事業 ・滞納者への償還・生活相談の実施 ・弁護士名による催告書の送付、民事訴訟・支払督促等の提起	〃	
(10) 災害時等の貸付けの特例措置に関する協定に基づく協定機関連絡会の実施及び実施方法の検討	〃	

２　貸付決定の実績（年度、資金種類別）

(1)　件　数　　（単位：件）

制度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
		計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均
総合支援資金	総合支援資金計	828	69	444	37	100	8	37	3	61	5
	（生活支援費）	(524)	(44)	(288)	(24)	(68)	(6)	(26)	(2)	(41)	(3)
	（住宅入居費）	(173)	(14)	(91)	(8)	(15)	(1)	(7)	(1)	(9)	(1)
	（一時生活再建費）	(131)	(11)	(65)	(5)	(17)	(1)	(4)	(0)	(11)	(1)
福祉資金	福祉費	99	8	61	5	38	3	33	3	61	5
	緊急小口資金	632	53	445	37	357	30	336	28	386	32
	（緊急小口資金（特例））	(33)	(3)	－	－	－	－	－	－	－	－
教育支援資金	教育支援費	72	6	18	2	27	2	33	3	45	4
	就学支度費	68	6	27	2	32	3	31	3	36	3
不動産担保型生活資金		2	0	1	0	2	0	3	0	5	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		3	0	2	0	4	0	2	0	2	0
計		1,704	142	998	83	560	47	475	40	596	50
臨時特例つなぎ資金		216	18	141	12	88	7	65	5	65	5

※緊急小口資金（特例）は、23年度末で廃止

(2)　金　額　　（単位：千円）

現制度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
		計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均
総合支援資金	総合支援資金計	423,228	35,269	158,240	13,187	30,767	2,564	7,807	651	12,581	1,048
	（生活支援費）	(373,165)	31,097	(135,660)	11,305	(26,927)	2,244	(6,673)	556	9,977	831
	（住宅入居費）	(36,681)	3,057	(16,632)	1,386	(2,435)	203	(989)	82	1,452	121
	（一時生活再建費）	(13,382)	1,115	(5,948)	496	(1,405)	117	(145)	12	1,152	96
福祉資金	福祉費	57,436	4,786	22,853	1,904	10,029	836	13,949	1,162	19,787	1,649
	緊急小口資金	45,544	3,795	28,204	2,350	20,099	1,675	17,960	1,497	23,940	1,995
	【再掲】緊急小口資金（特	(3,880)	323	－	－	－	－	－	－	－	－
教育支援資金	教育支援費	39,221	3,268	4,997	416	19,330	1,611	8,901	742	11,905	992
	就学支度費	20,113	1,676	7,314	610	8,581	715	10,815	901	10,090	841
不動産担保型生活資金		24,695	2,058	11,739	978	31,647	2,637	47,388	3,949	69,258	5,772
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		36,883	3,074	24,528	2,044	19,264	1,605	14,910	1,243	13,818	1,152
計		647,120	53,927	257,875	21,490	139,717	11,643	121,730	10,144	161,379	13,448
臨時特例つなぎ資金		10,390	866	7,662	639	2,817	235	1,980	165	1,950	163

※緊急小口資金（特例）は、23年度末で廃止

３　償還の実績（資金種類別）

（単位：円）

区分			償還計画額 (a)	償還額 (b)	滞納額 (a-b)	償還率 (b/a)
生活福祉資金		計	1,514,895,792	263,971,327	1,250,924,465	17.4%
		償還期限内	938,758,628	237,316,396	701,442,232	25.3%
		償還期限後	576,137,164	26,654,931	549,482,233	4.6%
	生活福祉資金特別会計	計	1,514,895,792	263,971,327	1,250,924,465	17.4%
		償還期限内	938,758,628	237,316,396	701,442,232	25.3%
		償還期限後	576,137,164	26,654,931	549,482,233	4.6%
	総合支援資金	計	916,289,278	63,979,879	852,309,399	7.0%
		償還期限内	663,287,499	57,946,089	605,341,410	8.7%
		償還期限後	253,001,779	6,033,790	246,967,989	2.4%
	福祉資金	計	268,338,332	50,926,303	217,412,029	19.0%
		償還期限内	74,821,754	38,903,620	35,918,134	52.0%
		償還期限後	193,516,578	12,022,683	181,493,895	6.2%
	教育支援資金	計	195,855,576	64,371,120	131,484,456	32.9%
		償還期限内	116,200,420	58,820,252	57,380,168	50.6%
		償還期限後	79,655,156	5,550,868	74,104,288	7.0%
	不動産担保型生活資金	計	81,135,195	81,135,195	0	100.0%
		償還期限内	81,135,195	81,135,195	0	100.0%
		償還期限後	0	0	0	0.0%
	（旧）離職者支援資金	計	53,277,411	3,558,830	49,718,581	6.7%
		償還期限内	3,313,760	511,240	2,802,520	15.4%
		償還期限後	49,963,651	3,047,590	46,916,061	6.1%
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	計	0	0	0	0.0%
		償還期限内	0	0	0	0.0%
		償還期限後	0	0	0	0.0%
臨時特例つなぎ資金		計	27,236,395	2,137,000	25,099,395	7.8%
		償還期限内	1,481,000	1,465,000	16,000	98.9%
		償還期限後	25,755,395	672,000	25,083,395	2.6%

推進事項２　権利擁護体制の構築の推進

１　日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々が、地域において自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉サービスの利用支援を市町社協と協働して実施した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 契約締結審査会の開催 （毎月１回：4/9、5/14、6/11、7/9、8/6、9/10、10/8、11/12、12/10、1/14、2/12、3/10）計 12 回	継 続	判断能力の不十分な方の自立生活に寄与するとともに、潜在対象者の掘り起こしを行い、権利侵害や財産侵害を未然防止するなど利用者の権利擁護を行った。
(2) 新任専門員研修（4/13）32 人 内容 ①基調報告：日常生活自立支援事業の実施状況 講師：県社協職員 ②講義・演習 ・日常生活自立支援事業について（講義） ・専門員としての姿勢と活動の実際（演習） 講師：長崎県大村市社会福祉協議会 事務局次長　山下浩司　氏 ③業務説明：日常生活自立支援事業の実際について 講師：島田市社会福祉協議会　杉本優子　氏	新 規	
(3) 市町社協日常生活自立支援事業担当者会議 （10/26）40 人 ①基調報告 ・日常生活自立支援事業の概要及び現状 ・成年後見制度等権利擁護体制の構築 ・本事業における本会の取り組み事項 ・利用料の改定 ②グループ協議 市町社協からの協議課題を協議 ③講義「日常生活自立支援事業における利用者の死後事務について」 講師：伊藤嘉奈子氏（伊藤総合法律事務所　弁護士） ④講義「日常生活自立支援事業におけるマイナンバー制度への対応について」 講師：赤堀 久士 氏（赤堀社会保険労務士事務所　社会保険労務士） ⑤説明「日常生活自立支援事業におけるシステム導入について」 説明者：知花 正樹　氏（株式会社イマジン 開発部）	継 続	
(4) 日常生活自立支援事業ケースカンファレンス 中・西部地区（シズウエル）：(1/6) ８人 東部地区（三島市）：(1/7) 11 人 講師：山地晴義　氏（国立市社会福祉協議会 課長）	新 規	

アドバイザー 中・西部会場：古井 慶治 氏（ふるい後見事務所　社会福祉士） 東部会場：浅賀 勢津子　氏（あさか社会福祉士事務所　社会福祉士） 内容：講義、ｹｰｽｶﾝﾌｧﾚﾝｽ（各会場１事例） (5) 生活支援員研修会の開催 ①新任研修　第１回：(6/26) 17 人 第２回：(2/17) ７人 内容 説明：日常生活自立支援事業の概要及び利用者の理解と支援の方法　講師：県社協職員 ＤＶＤ視聴：社協における日常生活自立支援事業 講義（第２回のみ）：「精神障害者の特徴と接し方について」 講師：静岡市支援センター 所長 奥村 敦毅 氏 報告：先輩生活支援員の生きた声をきこう ～支援のコツとは？～ 第１回：講師：富士市社会福祉協議会 上席主事　丸山　陽一氏 生活支援員　時田　由美子氏 生活支援員　小泉　美津江氏 第２回：講師：菊川市社会福祉協議会 地域福祉係長　堀川 直樹　氏 生活支援員　伊藤　幸次　氏 ②現任研修　東部：沼津市（9/29）49 人 中部・西部：菊川市（10/2）70 人 ・報告：日常生活自立支援事業の動向等について 講師：県社協職員 ・講義・演習：利用者をより理解するために ～傾聴による意向把握と気づきのポイント～ 講師：ふるい後見事務所　社会福祉士 古井慶治　氏	継 続	
(6) 日常生活自立支援事業推進委員会（委員６人） 第１回 5/15：日常生活自立支援事業業務システム導入 新任生活支援員研修について 第２回 6/23：業務システム内容について 専門員、生活支援員の研修について 利用料の改定について 第３回 8/17：業務システム構築業務委託業者選定 プロポーザル 第４回 10/1：担当者会議の企画内容について 業務システムの内容について	新 規	

(7) 金融関係機関連絡会議の開催（3/2）23 人 ①報告：日常生活自立支援事業の実施状況について（静岡県、静岡市、浜松市） ②協議・意見交換：災害時における対応について（金融機関との連携等）	継 続	
(8) 権利擁護関係機関連絡会議の開催（5/12）10 人 ①協議・確認事項：社協が運営する「権利擁護センター等」について（県社協権利擁護課） ②法人後見実施要綱について ③運営委員会設置要綱について	新 規	
(9) 日常生活自立支援セミナーの開催（1/21）18 人 ※賀茂地区権利擁護推進会議と合同 ①基調講演「後見業務の現状と課題～下田、賀茂地区を中心に～ 講師：伊豆下田法律事務所 弁護士 篠﨑 元貴氏 ②基調報告及び意見交換	継 続	
(10) 日常生活自立支援事業用業務システムの導入 ①株式会社イマジンから業務システム導入 ②日常生活自立支援事業業務システム説明会（2/1）31 市町社協担当者 午前：掛川会場、午後：三島会場 内容：業務システム概要及び操作方法 説明者：知花 正樹　氏（株式会社イマジン 開発部）	新 規	

（実利用者数）

区分＼年度	平成 27 年 ３月末	平成 28 年 ３月末	増減
認知症高齢者	170	180	10
知的障がい者	178	186	8
精神障がい者	168	190	22
その他	146	153	7
合計	662	709	47

日常生活自立支援事業ケースカンファレンス（平成 28 年１月６日、７日）

２　法人後見実施機関職員研修事業【県委託事業】

老人福祉法第 32 条の 2 等に基づく、市町の成年後見等に係る権利擁護体制整備のための支援に取り組んだ。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 成年後見制度市町長申立（支援）に係る実務研修（三島 10/9、下田 10/13、藤枝 10/21、掛川 10/23） (2) 社会福祉協議会のための法人後見実務研修（基礎編）10/30、11/11 (3) 社会福祉協議会のための法人後見実務研修（応用編）11/20	新 規 継 続 新 規	市民後見人育成の基盤となる社協の法人後見等に係る取組の支援につながった。

３　社協の法人後見等広域連携事業

社会福祉協議会が取り組む法人後見等の事業を、市民後見実施を考慮しつつ、広域連携で展開出来るよう事業連携の仕組みづくりに取り組んだ。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 第１回静岡県下法人後見・市民後見実施社協連絡会の設置（7/8）13 社協参加・オブザーバー３名 ①各社会福祉協議会の取り組み現状について ②各社会福祉協議会からの提出議題の協議 (2) 志太地域成年後見運営委員会の設置	新 規	社協の法人後見における広域連携の取組を試行実施し、他地区への普及を図った。

推進事項３　行政・各関係機関、団体種別協議会、職能団体との連携・協働の促進

１　静岡県健康福祉推進ネットワーク会議

地域包括ケアシステムの構築を向けて保健・医療・福祉・介護分野の専門職連携の強化を図った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 静岡県健康福祉推進ネットワーク会議の開催(3/16) (2) 県二次医療圏域多職種連携モデル会議の開催(1/14 駿東地域、1/28 中東遠地域)	継 続 新 規	広域的な視点から、多職種連携にあたっての課題等を明確にし、今後の方向性を確認した。

２　福祉サービス運営適正化委員会事業

福祉サービス利用援助事業の適切な運営と福祉サービス利用者からの苦情解決及び事業者段階における適切な苦情解決の仕組みづくりに取り組んだ。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 運営適正化委員会（全体会）の開催（6/2） 26 年度事業報告、27 年度事業計画 (2) 運営監視合議体の開催 第１回(6/2)　第２回（8/3） 第３回(12/14) 第４回(3/3) (3) 苦情解決合議体の開催 第１回(6/2) 第２回（8/3）　第３回(10/6) 第４回(12/14) 第５回(3/3) 第６回(3/18) (4) 巡回支援活動の実施（８事業所） (5) 苦情解決研修会の開催 第１回 8/4（参加者 79 名） 第２回 8/5（参加者 63 名） 第３回 10/2（参加者 89 名） (6) 啓発活動の実施 随時ポスター・パンフレット等の無料配布 (7) 関東甲信越静ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会及び相談員連絡会（10/2）	継 続 〃 〃 〃 〃 〃	福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保とともに、福祉サービスに関する利用者の苦情解決に努め、利用者の福祉サービスの適切な利用に寄与した。 また、研修会及び啓発活動等を実施し、事業者の苦情解決体制づくりを支援することで、福祉サービスの質の向上に寄与した。

苦情件数（平成 28 年 3 月末現在）　　（単位：件）

区　　分	平成 27 年度	平成 26 年度	前年度対比
苦情	73	53	137.7%
その他相談	22	28	78.6%
計	95	81	117.3%

３　福祉サービス第三者評価事業

福祉サービス提供事業者のサービスの質を公正・中立な第三者評価機関(平成 17 年１月 17 日静岡県から認証)として、専門的かつ客観的な立場から評価し、その結果をホームページで公表した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 福祉サービス第三者評価の実施 契約件数：９件 (2) 事前説明の実施 契約事業所に対し、事業の内容、評価の実施方法等の説明を行った。（９か所） (3) 評価委員会の開催(4/13、9/1、11/12、1/29、3/15)	継 続 〃 〃	契約事業所が事業経営における具体的な問題点を把握して「サービスの質の向上」に繋げられるよう支援した。

４　障がい者等の自立支援の推進

地域活動支援センターの利用者の就職やアパート等への入居に際して、身元保証人や連帯保証人になっている施設長等に対し、補償義務が発生した場合の損失補填を行う事業を実施するとともに、県肢体不自由児協会の事務局を受託し、肢体不自由児の福祉増進を図った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 施設利用精神障害者自立促進事業の実施 審査委員会の開催（3/7） ※３件が損失補てんの支援継続中 (2) 県肢体不自由児協会の事務受託 ①あり方検討委員会の開催（6/25） ②理事会の開催（5/14、10/1、3/3） ③肢体不自由児療育指導者講習会の開催 第１回　6/19～6/20 第２回　7/24～7/25 第３回　8/28～8/29 第４回　9/12　　（受講者計 255 人） ④第 10 回意見交換会の開催（10/24） ⑤手足の不自由な子どもを育てる運動の実施（11/10～2/15） ⑥第 32 回静岡県手足の不自由な子どもの絵画展の開催（1/23～2/15）表彰式(1/25)	継 続 〃	保証人の経済的負担の軽減を図ることにより、障がい者の地域生活移行の推進につながった。 肢体不自由児に対する理解促進に寄与した。

５　児童等の自立支援の促進

施設に入所している児童及びＤＶ被害者等とその同伴家族の就職、進学又はアパート等への入居に際して、身元保証人となっている施設長等に対し、補償義務が発生した場合の損失補填を行う事業を実施するとともに、県里親連合会の事務局を受託し、社会的養護が必要な児童の自立を支援した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 施設入所児童等自立促進事業の推進 審査委員会の開催（5/14） ※新規加入決定件数：２件 (2) 県里親連合会の事務受託 ①　総会・研修会の開催 (6/13・参加者 97 人) ②　理事会の開催（5/19、9/15、3/7） ③　正副会長会議の開催（8/27） ④　里親月間記念講演会（10/4） ⑤　里親賠償責任保険への加入 ⑥　里親里子夏のふれあい交流事業 （共同募金会助成事業） 県内５か所で開催	継 続 〃	保証人の経済的負担軽減を図ることにより、施設入所児童等の自立の推進につながった。 里親制度の普及啓発と里親同士の交流及び資質向上に寄与した。

⑦ 自動車運転免許取得助成事業 （共同募金会助成事業） 平成27年度に就職を希望する高校3年生の里子を対象に取得費用の一部を助成（2人） ⑧ ショート・ルフラン里親事業 （県委託事業） ⑨ 里子の専門相談サポート事業 ⑩ 里子の祝い金　中学・高校卒業のお祝い金として里子13人に贈呈		

６　障がい者の就労支援

障がい者の就労意欲の高揚を図るため、創意工夫して、自主製品等の製作・製造を行っている事業所に対し、必要な設備・機器の購入経費を助成した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 障害者工賃アップ促進事業の実施 選考委員会(10/2) 申請件数:21事業所 （申請総額 7,157,286円） 助成件数:14事業所（助成額3,104,000円）	継続	授産製品開発の活性化につながった。 製品開発により生産量が増加し、工賃アップを図ることができた。

基本目標３　地域福祉を支える基盤づくり

実施目標１　市町社協を支援します

推進事項１　市町社協相互の連絡調整、調査研究・政策提言

市町社協の体制強化、基盤整備を図るとともに、地域福祉を協働して進めるための基礎調査及び訪問支援等を行った。

また、各市町の地域福祉推進における現状や課題、今後の取組について、近隣の市町の関係機関による意見交換の場を設定し、連携強化を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 市町社協連絡協議会の開催 ア　事務局長会議の開催(4/28) イ　幹事会の開催(9/25) ウ　市町社協経営基盤強化検討委員会の開催 (8/4、11/13、1/22、2/29) 「市町社協における会員制度のあり方」を提案 エ　介護保険部会の開催（幹事会 7/6、全体会 10/28） 講演　住民主体の地域包括ケア推進における社会福祉協議会の役割～地域住民の福利の向上のために何ができるのか～ （立川市社協　山本地域福祉推進課長）	継続	市町社協の効果的、効率的な経営と会計の透明性の確保に寄与した。
オ　しずおか社協全体会議の開催(1/23) 対談 「兵庫県宝塚市社協における地域福祉実践に学ぶ」 対談者　社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会 事務局長　佐藤　寿一　氏 駒澤大学　文学部 社会学科 准教授　川上　富雄　氏 分科会 第１：介護部門と地域・総務部門等を 「横断的につなげる」ひと工夫 ～社協が新総合事業に取り組んでいくために介護事業のノウハウと地域福祉活動のネットワークを活用するために～ 第２：ザ・無礼講！ ～そして、家族になろうよ♪～ 第３：社協と企業の「新しい連携・協働」を考える ～社協♡企業＝未知なる事業の誕生!?～		県及び市町行政、社協が協働した地域福祉実践、各市町の先駆的取組の情報交換、先進的な事例収集及び行政と社協との連携強化を図った。
(2) 市町社協活動実態調査の実施(240 部、10 月)	〃	
(3) 市町社協役職員便覧の作成　(200 部、4 月)	〃	
(4) 市町社会福祉協議会連絡協議会等支援事業	〃	
(5) 地域福祉推進ブロック会議の開催 賀茂地区 9/19、熱海・東部地区 9/11、東部・御殿	〃	

場・富士地区 9/11、中部地区 9/10、西部地区 9/8 テーマ：地域福祉の現状 (6) 市町社協研修会等への講師派遣 ア　駿東郡社協役員研修会（6/29） イ　伊豆市社協役員・評議員研修会（9/17） ウ　富士宮市社協役員研修会（9/30） エ　浜松市中区社協連絡会(2/26) オ　駿東郡社協職員研修会(3/10) カ　掛川市社協経営強化検討委員会 キ　島田市地域福祉（活動）計画策定委員会	継 続	

推進事項２　役職員のスキルアップ支援

地域福祉の担い手となる市町社協役職員の資質向上を目的とした体系的な研修を実施している。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 新任職員研修の開催 【前期】5/14、15　参加者 60 人 講義Ⅰ『社会福祉協議会の基本理解』 講義Ⅱ『社会福祉協議会職員の基礎的実務』 講義Ⅲ『社会福祉協議会の職員として求められる接遇』 演習Ⅰ『自分にとっての“価値ある夢”と“強み”を再考』他 講師：小山町社協常務理事　原秀人氏　他 【後期】11/6　参加者 54 人 グループ討議「社協職員としてのこれからを考える 演習Ⅲ『１年後の自分の立ち位置を考える』 講師：小山町社協常務理事　原秀人氏　他	継 続	社協の果たすべき役割等を共有・確認するとともに、社協における業務、職種を超えて、社協職員として求められる意識や視点、知識、技術の習得により、社協活動の活性化に寄与した。
(2) 新任事務局長研修の開催(4/28)	〃	
(3) トップセミナーの開催 9/25　グランディエールブケトーカイ　108 人 ○基調講演 「社会福祉協議会が今、担うべき地域福祉の方向性」 ～ 社協に期待される権利擁護への取組 ～ 講師　社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長　炭谷　茂 氏 (元 厚生省 社会・援護局長) ○実践報告的シンポジウム 「地域の期待に応える社協の権利擁護実践」 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：駒澤大学文学部社会学科 准教授　川上 富雄 氏 ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ：社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長　炭谷　茂 氏 報告①福岡市社協あんしん生活支援センターの実践	〃	

福岡市社協あんしん生活支援センター 副所長　遠矢　理 氏 統括専門員 吉武 ゆかり 氏 報告②総社市権利擁護センター“しえん”の実践 総社市社会福祉協議会　主幹　中井 俊雄 氏		
(4) 監事研修会の開催(4/24)	継 続	
(5) 地域福祉コーディネーター（中核リーダー）養成研修の実施 参加者 22 人 第４回　6/8～9 講義「スーパービジョン」 講師　ルーテル学院大学・大学院 教授　福山　和女　氏 FK 研究グループ 代表　萬歳　芙美子　氏 文教クリニック カウンセラー　荻野　ひろみ　氏 第５回　8/20 講義「社会福祉協議会の使命の再確認」 講師　駒澤大学文学部社会学科 准教授　川上　富雄　氏 第６回　11/18 講義「人事・労務管理」 講師　社会保険労務士　阿部オフィス 所長　阿部　健太郎　氏 第７回　2/12 講義「危機管理（社協におけるＢＣＰ）」 講師　（株）浜銀総合研究所 主任コンサルタント　江嶋　哲也　氏 第８回　2/24 講義「将来ビジョン」 講師　合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員　泉　恵造　氏	〃	 中核リーダー研修 （平成 27 年６月８・９日）
(6) 市町社協会計実務研修会(6/22)	〃	
(7) 市町社協決算実務研修会の開催(2/2)	〃	
(8) コミュニティソーシャルワーク実践者研修受講者継続研修の実施(2 回)	継 続	
(9) コミュニティワーク研修会～社協の伝える力養成編～の開催(8/3)	新 規	
(10) 市町社会福祉協議会地域福祉担当者会議～社協と社会福祉施設の連携を考える～の開催(9/3)	〃	
(11) コミュニティワーク研修会～地域アセスメント編～の開催(10/26)	〃	

実施目標２　社会福祉事業者を支援します

推進事項１　社会福祉事業者の地域福祉推進に係る環境づくりを促進します

１　社会福祉関係機関・団体との連携・協働

社会福祉施設種別協議会及び民間社会福祉団体のより一層の基盤強化を図るための支援や、全体を統括した福祉に関する提言・要望活動を実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施	継続	・民間社会福祉団体の運営基盤の強化と地域福祉の促進につながった。
(2) 社会福祉団体等連絡協議会の開催(9/8) 県健康福祉部長等幹部職員と福祉団体との意見情報交換の実施	〃	
(3) 民間社会福祉団体運営費助成事業の実施 詳細は、巻末資料Ｐ　を参照 第１回助成（6/30）第２回助成（1/29）	〃 〃	・民間社会福祉活動の充実発展に寄与した。
(4) 民間社会福祉活動促進事業費助成事業の実施 詳細は、巻末資料Ｐ　～を参照 第１回助成（8/31）第２回助成（11/27） 第３回助成（精算払い）平成 28 年５月予定		・民間社会福祉団体の先駆的な地域福祉活動の促進や地域との連携方策の波及につながった。

社会福祉団体等連絡協議会
（平成 27 年９月８日）

推進事項２　社会福祉事業者等の経営を支援します

１　福祉施設等への経営指導の実施

社会福祉法人及び社会福祉施設が行う運営の取組に対し、福祉施設経営指導員等の専門相談員による助言、指導及び支援を行った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 経営相談の実施（632 件） ※福祉・介護人材マッチング事業による実施分含む	継 続	・施設の経営全般にわたる質の向上に寄与した。
(2) 福祉施設経営指導連絡協議会の開催(年１回、1/27)	〃	
(3) 県社会福祉法人経営者協議会の事務受託	〃	・客観的視点からの事業所経営及びその安定化につながった。

２　社会福祉法人等に対する支援事業

経営基盤の強化や施設サービスの質の向上など、社会福祉事業所の様々な課題に対し、研修会やセミナーの開催により支援した。特に、相談の大半を占める「会計・税務」の研修を強化した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 社会福祉法人監事監査研修会の開催　(4/15,17　766 人)	継 続	社会福祉法人・施設の経営基盤強化と質の高いサービス提供のための運営管理の推進に寄与した。
(2) 社会福祉施設人事・労務管理研修会の開催 (5/27・6/2　203 人)	〃	
(3) 社会福祉法人簿記入門講座の開催　(6/15　120 人)	〃	
(4) 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座の開催 (6/16・19　146 人)	〃	
(5) 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座の開催 (7/10・13・14・17　373 人)	〃	
(6) 社会福祉施設運営管理研修会の開催　(7/22・28　222 人)	〃	
(7) 社会福祉法人・施設職員税務実務講座(所得税等)の開催(12/1　115 人)	〃	
(8) 社会福祉法人予算管理講座の開催(1/15,21　445 人)	新 規	
(9) 社会福祉法人決算実務講座の開催(2/16　412 人)	継 続	
(10) 新設社会福祉法人等運営管理説明会の開催(2/26　23 人)	〃	

３　社会福祉施設の整備促進事業

社会福祉施設の整備に必要な資金(福祉医療機構から借入れた元金・利子)の一部補助や施設の運営・設備等に必要な資金を融資し、民間社会福祉事業の振興を図った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 施設借入金元金・利子助成事業の実施	継 続	法人財政の安定と社会福祉施設の整備促進に寄与した。
(2) 社会福祉振興資金貸付事業の実施 ア　施設運営・設備資金 イ　特別整備貸付資金　貸付決定：１件（17,000 千円） ウ　施設整備資金 エ　耐震化整備資金	〃	

実施目標３　県社会福祉協議会の基盤強化を図ります

推進事項１　会員参画の場の充実を図ります

県社協への多様な意見集約と県社協の有するネットワーク機能を高めるため、納付された会費の利用内容を明確にするとともに、県社協の基盤強化を図った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 会員数　（３月末現在） 普通会員　8,656 団体 賛助会員　182 団体　　計 8,838 団体 （前年度同時期比：５団体の増） (2) 平成 27 年度会費請求（７/13） 会費収入額 34,639,871 円（３月末現在） (3) 会費利用内容の明確化 会費請求時や新規会員加入時等にチラシを配付して、県社協事業への協力体制の強化を図っている。 また、特に賛助会員の獲得について、広告版下を利用し、強化を図っている。	継 続 〃 〃	県社協会員制度の意義の理解促進及び、県社協の基盤強化を図った。

推進事項２　現場主義に立って多彩な情報の収集と福祉に関する情報の発信拠点を目指します

１　地域福祉情報発信事業

地域福祉に関する情報提供媒体として、現場主義に立って多彩な情報を収集するとともに、機関紙等を活用して福祉に関する情報を発信した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 機関紙「社会福祉しずおか」の発行 10 月を除く毎月、11,300 部発行 (2) 県民向け広報紙の発行 「社会福祉しずおか」10 月号は特別号とし 120,000 部を発行し、広く県民へ配布 (3) 県社協パンフレットの発行　(1,000 部、４月) (4) メールマガジンの配信　毎月２回発行 (5) 福祉情報センターの運営、資料管理 (6) 各福祉週間等啓発事業【再掲】 ア 児童福祉週間（５月） イ 老人週間（９月） ウ 児童虐待防止月間(11 月) エ 障害者週間(12 月) (7) ふくしの「広報」応援事業 第４回静岡県福祉広報紙コンクール表彰式・ふくしの「広報」応援講座の開催（3/11）応募数：47 点 部門：福祉サービス事業所部門及び市民活動団体部門 各部門から最優秀賞１点、優秀賞２点、奨励賞２点を	継 続 〃 〃 〃 〃 〃 新 規	住民の地域福祉活動への参加促進、地域の実情に応じた地域福祉活動の活性化及び社会福祉協議会の認知度の向上に寄与した。 より伝わる広報紙づくりについて学び、地域福祉活動の効果的な情報発信に寄与した。

表彰 講師：有限会社アドクック 代表取締役　前田　ミネオ　氏 静岡大学人文社会科学部 客員教授　平野　雅彦　氏 (8) 社会福祉施設・事業所・団体要覧の発行（6 月） (3,500 部発行)	継 続	

２　電子オフィスシステム整備事業

ホームページの運営等による情報の収集及び発信のほか、情報(電子データ、紙)の漏洩事故の防止等の対策を行った。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) ホームページの充実及び積極的な活用促進 ホームページ、電子会議室(掲示板)等のＷＥＢサービスを利用した、情報の収集、発信 (2) 情報(電子データ、紙媒体)漏洩等の防止対策の検討	継 続 〃	ホームページを活用し、様々な情報の収集・提供を行い、地域活動の活性化を図った。 情報セキュリティ対策を行い、情報漏洩事故の防止等、情報の適切な管理を行った。

推進事項３　組織体制の強化を図ります

１　理事会・評議員会機能の強化

予算、決算、事業計画等の定例的な議題提案にとどまらず、各種事業の進捗状況や、地域が抱える課題等を積極的に報告し、理事・評議員の意見を県社協の事業運営に反映した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 理事会及び評議員会の開催（３回） 第１回　5/26 ① 人事案件（評議員の補充・選任） ② 平成 26 年度事業報告 ③ 平成 26 年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支決算 (監事監査及び外部監査報告を含む) ④ 平成 27 年度５月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 報告事項 「社会福祉法人に対する指導監査の実施結果について」 第２回　10/29 ① 人事案件（理事、評議員の補充・選任）	継 続	県社協及び地域が抱える課題や重要事項等を審議することにより、県社協事業の円滑な遂行と的確な地域福祉施策を推進することができた。

② 平成27年度10月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 報告事項 「平成 27 年度上半期事業執行状況」 「生活福祉資金制度の現状と課題」 「静岡県社会福祉協議会諸規程の一部改正」 「平成 26 年度決算における未払金の計上誤りについて」 「社会福祉法の改正について」 「平成 28 年度理事会・評議員会開催日程」 第３回　3/23 ①平成 27 年度 3 月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 ②平成 28 年度事業計画 ③平成 28 年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算 ④静岡県社会福祉協議会定款の一部変更（公益事業区分の追加） ⑤静岡県社会福祉協議会経理規程の一部改正 ⑥静岡県社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の制定 報告事項 「静岡県社会福祉協議会諸規程の一部改正」 「平成 28 年度静岡県社会福祉協議会理事会・評議員会等開催日程」		
(2) 監事による監査（１回） 5/11　指摘事項なし	継 続	
(3) 正副会長会議の開催（３回） 理事会及び評議員会への上程議案を協議 第１回　5/13 第２回　開催なし 第３回　3/4	〃	

２　職員研修体系の確立

役員等による福祉現場視察を実施し、福祉現場の実態･課題の把握により、事業運営の参考とした。

また、職員に対する研修について、職務遂行に必要な基本的事項を習得させる基本研修と業務遂行上必要な専門的な知識･能力等を習得させる専門研修の二つに分け、適宜、受講させた。

なお、市町･各種団体・教育機関等外部からの講師等派遣依頼を積極的に受け入れた。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 役員の福祉現場視察の実施 第１回（7/29）会長、常務理事 視察現場：七美クラブ（熱海市伊豆山七尾団地） 公営住宅における居場所づくりや入居者相互の支え合い活動の状況把握 第２回（9/17）会長、常務理事 視察現場：コミュニティホーム長者の森（焼津市） ふじのくに型福祉サービスの居場所、ワンストップ相談、共生型福祉施設の取組把握。 （コミュニティホール長者の森） 福祉現場視察（七美クラブ）	継 続	福祉現場における現状や課題について役員の理解が深まり、本会の事業運営の参考となった。
(2) 職員に対する基本研修 ・新規採用職員研修(5/27　6 人) ・接遇研修（6/2,3　14 人） ・普通救命講習Ⅰ（6/24,25　5 人） ・第四次活動推進計画に係る職員研修（7/23,31　28 人） ・安全運転講習会（7/23,31　50 人） ・業務理解研修、終活セミナー(3/15,17　52 人) ・社会福祉主事通信課程秋期課程（通年　２人）	継 続	職員に基礎的実務を習得させることにより職員の資質向上や事務・事業の円滑な遂行につながった。 また、各事業の専門分野に関する知識を掘り下げて習得させることにより職員の業務処理能力の向上にもつながった。

(3) 職員に対する専門研修(開催時期に応じて随時) ア　福祉全般、基礎 ・中小企業のためのBCP対策セミナー (4/17 2人) ・職場研修担当者研修会（6/12～14　1人） ・グループウェアセミナー（7/7　2人） ・社会福祉セミナー　(7/24　1人） ・全社協常務理事・事務局長セミナー (7/30,31　1人） ・広報力アップ講座（8/11　13人） ・全社協広報セミナー(8/31,9/1　1人） ・全社協会計実務講座中級コース（1人） イ　業務専門研修 ・福祉人材情報システム研修会(4/14,15　1人） ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者養成研修（4/18～20　1人） ・研修実施機関担当者職員研修 (4/22～24　1人） ・社会的養護第三者評価調査者養成研修 (5/25～28　2人） ・マイナンバーセミナー（6/16　2人） ・生活福祉資金貸付事業担当職員研修 (7/2,3　1人） ・改正社会福祉法と会計監査人監査に向けての実務上のポイントセミナー(7/13　1人） ・マッチング機能強化研修（7/13,14 1人） ・赤い羽根全国ミーティング（7/13,14　1人） ・県災害ボランティア本部内部研修 (7/24　20人） ・生活困窮者主任相談員研修（8/24～26　1人） ・生活支援コーディネーター養成研修 (9/2,3　1人） ・関東ブロック社協合同研究協議会 (7/16～17 4人) ・マッチング機能強化研修（7/24～25 1人） ・子ども子育て全国フォーラム（12/2　1人） ・災害ボランティアセンター運営者研修 (11/10,11　3人） ・全社協ボランティア担当者研修（12/16　1人） ・社会福祉協議会活動全国会議　(2/22 1人）	継続	 広報力アップ講座 業務理解研修・終活セミナー

(4) 外部からの依頼による講師の派遣 ・常葉学園大学キャリアデザイン論（5/21） ・市町新規採用職員広域研修（5/15,22,29）	継 続	外部から依頼のあった講師を経験することで、社協業務の再確認と、プレゼン力を向上することができた。
(5) 主任・主事会議（毎月 1 回開催） 会議議題等 ・事業課題の情報共有と協議 ・研修の実施（民間企業見学、SHIEN 学講座）	継 続	部署間での情報共有を図り、活発な意見交換を交わすことができた。

3　地域福祉調査研究事業

第四次活動推進計画の進捗状況や数値目標について評価・分析するとともに、県社協のあるべき姿の実現に向けた取組を進めた。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 企画調査委員会の開催(3/3) 第四次活動推進計画進捗状況について (2) 社会福祉に関する県等への提言 ア　県健康福祉部長に対する「地域福祉の推進に向けて」の提出（8/27） イ　県知事への提言（11/5）	継 続 〃	県社協が取り組むべき課題の明確化とともに、第四次活動推進計画の適正な進行管理に努めた。

4　県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営

平成 26 年 3 月に平成 26 年度から 5 年間の県総合社会福祉会館の管理・運営に係る指定管理者の指定を受けた。平成 26 年 4 月に指定管理者として静岡県と締結した協定書を遵守し、引き続き、入居団体や利用者の安心と満足を確保する管理と運営に努めた。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 県総合社会福祉会館の指定管理運営 指定期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 ア　指定管理業務 ① 会議室等の使用承認等 ② 利用料金の設定及び収受 ③ 会館の維持管理 ④ 会館入居団体、利用者の調整 ⑤ 来館者への食事提供に関する業務 イ　利用実績（３月末現在） ・ 有料会議室（10 室　うち１室は、展示ギャラリー兼用） 2,519 件利用、利用料金収入 12,329,350 円 ・ その他の施設（７施設、32 入居団体） 累計 7,871 件、247,371 人利用	継 続	会館の管理運営業務を着実に遂行し、入居団体や利用者が安心し、満足が得られる運営を確保できた。

ウ　マナー研修（6/2,3　24 人） 接遇の心構え、立ち振る舞いの基本、感じの良い話し方・聞き方、どんなひとの心にも届く！＋αの接遇力等 エ　普通救命講習Ⅰの開催（6/24,25　29 人） 心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）の取扱等 オ　フェスタシズウエル 2015（8/22 開催） ・ 行事内容 授産製品販売、参加団体活動展示、ステージイベント、昔の遊び、ニュースポーツ、サウンドテーブルテニス、盲導犬との触れ合い、お城の製作等 来館者総数　906 人　　参加団体　19		会館入居団体職員を対象としたマナー研修や普通救命講習に多くの職員が参加し、会館職員の資質向上を図ることができた。 フェスタシズウエルには、多数の来館者があり、会館及び入居団体の活動を広くＰＲすることができた。

静岡県総合社会福祉会館
（愛称：シズウエル）

普通救命講習Ⅰ
（平成 27 年 6 月 24、25 日）

５　防災訓練の実施

県総合社会福祉会館の指定管理者として、災害等の非常事態の際に人命の安全と火災等の被害防止のため、防災設備の操作訓練も含めた総合的な防災訓練を実施した。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 情報伝達訓練の実施 （4/23 県社協職員、6/4 会館入居団体職員）	継 続	情報伝達が円滑に行われるか検証できた。
(2) 総合社会福祉会館防災訓練の実施 第１回：9/2、参加人員 131 人 避難誘導訓練、エレベーター閉じ込め救出訓練 ※雨天のため、救助袋降下訓練等他の訓練は中止 第２回：2/23、参加人員 137 人 避難誘導訓練、救出袋操作訓練、放水訓	〃	入居団体職員の防災意識の高揚と防災設備操作の熟知に努めた。また、事前に階段避難器具(EVAC+CHAIR)の操作訓練を避難誘導班職員を中心に実施し、操作法の習得に努めた。

練、自家発電機操作訓練、水消火器操作訓練、エレベーター閉じ込め救出訓練 (3) 階段避難器具（EVAC+CHAIR）の操作訓練の実施 （8/28　参加人員 20 人）	継 続	

総合社会福祉会館防災訓練
（避難訓練・EVAC+CHAIR 操作訓練）
（平成 27 年 9 月 2 日）

推進事項４　財政基盤の確保を図ります

１　安定的な財政基盤による事業執行

公的財源の確保に加えて、自主財源確保、支出削減に取り組み、財政基盤の強化に努めている。

事 業 の 実 績	区 分	効果・評価
(1) 県社協財政状況の検証（3/15,17） 平成 25 年度決算と平成 26 年度決算を比較説明し、自主財源収入増加を目指す科目について説明をした。	継 続	限られた財源を有効活用することにより財政基盤の強化に努めた。
(2) 支出削減への積極的取組の推進 ・新高速印刷機導入による事務の効率化を図った。 ・コスト削減 （コピー用紙単価の見直し、発送経費単価見直し） ・各事業における発送経費の使用実績を示し、翌年度予算に反映させるよう指導をした。	〃	

２　外部監査による組織運営の透明性の確保

公認会計士による外部監査を実施し、会計経理の適正な手続きと事業運営の透明性を確保している。

事業の実績	区 分	効果・評価
(1) 決算書類に関する外部監査の実施(5/7～8) 指摘事項なし	継 続	社会福祉会計基準に基づく会計経理の指導を受け、適正な手続きと事業運営の透明性を確保できた。
(2) 出納業務に関する外部監査 (11/19、24)	〃	
(3) 会計業務及び予算執行に関する外部監査の実施 (2/15,17)	〃	

平成 27 年度社会福祉事業活動収入予算（自主財源）の概要

＜単位：千円＞

収入区分	27 収入実績	27 自主財源		
		27 収入予算（自主財源分）	27 収入実績（自主財源分）	自主財源の内容
会費収入	34,639	34,500	34,639	会費
寄附金収入	5,735	6,100	5,735	一般寄附、ＡＢＣ寄附金
経常経費補助金収入	1,272,776	－	－	
受託金収入	145,019	26,689	27,319	団体事務受託金等
貸付事業収入	42,229	－	－	
事業収入	67,687	69,649	67,687	資料図書頒布、広告料、手数料、参加費収入
負担金収入	4,300	－	－	保育園保護者調査事業負担金
受取利息配当金等収入	34,153	34,134	34,153	基金等利息
その他の収入	5,238	5,724	5,238	
事業活動収入計	1,611,776	176,796	174,771	自主財源比率 10.8%

重点プロジェクト事業

1　「ストップ！子どもの貧困」ネットワークプロジェクト

貧困の連鎖によって、子どもたちの将来が閉ざされることのないよう、多様な機関・団体等がつながり、子どもの貧困対策に向けた仕組みづくりに取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
(1)子どもの貧困問題に係る現状の把握及び啓発 ア　現状やニーズの把握 ①地域アセスメント（静岡市葵区、焼津市） ②主任児童委員との情報交換（10/29） ③児童館職員との情報交換（3/15） ④学習支援や生活支援、子ども食堂等の取組把握 イ　「ストップ！子どもの貧困」セミナーの開催 3/1　グランシップ　約80名 ○基調講演 「子どもの貧困問題に対して地域ができること」 講師：幸重社会福祉士事務所 代表　幸重　忠孝　氏 ○報告 ★ワク☆ドキサロン　本間　不二子　氏 ★ゆずのひ　川端　幸稚子　氏 ★助言者：幸重社会福祉士事務所 代表　幸重　忠孝　氏	子どもの貧困に係る現状や支援の必要性について、住民意識の向上を図ることができた。
(2)入居債務保証事業（仮称）の検討 施設入所児童等自立促進事業の検証 出雲市障がい者入居債務保証事業の視察（12/10）	出雲市では、社協が主体となって、入居債務保証事業について、行政や相談支援事業所等と連携し、障がい者の入居保障や身上監護を支援しており、本県でも事業導入の必要性を引き続き検討していく。

２　権利擁護を軸とした地域のつながりプロジェクト

地域で生きづらさを抱える人が安心して生活するために、権利擁護の充実を目指して、市町（地域）に向けた働きかけを行うとともに、あらゆる機関がつながりをもち、支え合う仕組みづくりに取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
(1)障がい児者関係団体等の協議の場づくり ア　障がい者社会参加促進会議の立上げ（7/13） イ　障がい児者の差別解消に向けた普及啓発（12/8 障がい者差別解消シンポジウムの開催） ウ　障がい者雇用推進検討会の開催（11/13、1/6、3/18）、企業に対する障がい者の職場定着等の実態調査の実施 （企業 150 社から回答）	障がい児者関係団体の連携強化と障がい児者の差別解消を推進した。 障がい者雇用の実態を把握することができ、来年度、雇用を推進するマニュアル作成につなげていく。
(2)成年後見等に係る権利擁護体制の整備に向けた取組の推進 ア　法人後見実施機関等の職員研修の開催 イ　静岡県下法人後見・市民後見実施社協連絡会の設置 ウ　志太地域成年後見運営委員会の設置	市民後見人育成の基盤となる社協の法人後見等に係る取組を支援するとともに、広域連携の取組を試行実施し他地区への普及を図った。

巻　末　資　料

役員・評議員・事務局職員の状況

平成 28 年 4 月 1 日現在

1　役員、評議員　（単位：人）

区　　分	前年度(H26 年度)		本年度(H27 年度)			
	平成 26 年度末現在	平成 26 年度末退任等	就　　任	中途退任	平 27 年度末現在	平成 27 年度末退任等
理事	２２	3	6	3	２２	1
うち常務	1	1	1	0	1	0
監事	3	0	0	0	3	0
評議員	５２	3	7	4	５２	5

2　職員　（単位：人）

区　　分	前年度(H26 年度)		本年度(H27 年度)			
	平成 26 年度末現在	平成 26 年度末退任等	就　　任	中途退職	平成 27 年度末現在	平成 27 年度末退任等
職　　員 (内育休)	２４ （０）	4 （０）	4 （０）	0 （０）	２４ （０）	4 （０）
再　雇　用 (内育休)	1 （０）	1 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）
嘱　託　員 (内育休)	３２ （０）	2 （０）	4 （０）	4 （０）	３０ （１）	6 （０）
臨時事務員 (内育休)	0 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）
非常勤臨時 (内育休)	0 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）	0 （０）
計 (内育休)	５７ （０）	7 （０）	8 （０）	4 （０）	５４ （０）	１０ （０）

会 員 状 況 一 覧（平成28年3月31日現在）

種 別 名	分 類 名	会員数
生活保護施設	救護施設	8
	宿所提供施設	1
	医療保護施設	1
	計	10
児童福祉施設	乳児院	4
	母子生活支援施設	2
	児童養護施設	12
	知的障害児施設	8
	知的障害児通園施設	10
	児童デイサービス事業所	14
	肢体不自由児施設	1
	肢体不自由児療護施設	1
	重症心身障害児施設（入所）	3
	情緒障害児短期治療施設	1
	児童自立支援施設	1
	保育所　へき地保育所	465
	児童館	1
	児童一時保護所	2
	重症心身障害児施設（通園）	1
	計	526
老人福祉施設	養護老人ホーム	25
	特別養護老人ホーム	211
	軽費老人ホーム（A型）	7
	軽費老人ホーム（ケアハウス）	29
	有料老人ホーム	36
	老人福祉センター	18
	老人休養ホーム	0
	老人憩の家	2
	デイサービスセンター	224
	グループホーム	67
	老人短期入所施設	11
	在宅介護支援センター	6
	地域包括支援センター	8
	小規模多機能型居宅介護	12
	計	656

種 別 名	分 類 名	会員数
障害者福祉施設	障害福祉サービス事業所	187
	障害者支援施設	12
	身体障害者更生援護施設	16
	知的障害者援護施設	45
	地域活動支援センター	4
	福祉ホーム	2
	身体障害者福祉センター	2
	計	268
婦人保護施設	婦人保護施設	1
社会福祉一般施設	地域福祉センター	0
	無料宿泊所	2
	無料低額診療施設	3
	計	5
社会福祉協議会・団体	市町社会福祉協議会	35
	保護司会	24
	県域の福祉団体	47
	その他の団体	28
	計	134
賛助会員	市町・議長	45
	団体	8
	企業	77
	個人	52
	計	182
個人会員	民生委員児童委員・個人	6,854
介護保険関係事業所	介護保険事業所	128
介護老人保健施設等	介護老人保健施設	62
	介護療養型医療施設	12
	計	74
合　　計		8,838

事務受託団体一覧

団体名	担当課
静岡県社会福祉法人経営者協議会	経営支援課
福利厚生センター静岡事務局	経営支援課
静岡県里親連合会	経営支援課
静岡県肢体不自由児協会	経営支援課
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	経営支援課
静岡県児童養護施設協議会（一部事務）	経営支援課
静岡県民生委員児童委員協議会	地域福祉課

平成27年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金

地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

＜NPO・ボランティアグループ等活動奨励事業＞

NO.	市町名	グループ名	贈呈額
1	御前崎市	御前崎子育てサークルｔａｏ	100,000
2	三島市	音訳サークル「アイ・あい」	100,000
3	磐田市	朗読人形劇団　きらきら星	100,000
4	菊川市	あしたばの会	100,000
5	清水区	特定非営利活動法人かっぱらぱ編集室	100,000
計			500,000

＜地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業＞

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	浜松市 中区	特定非営利活動法人 えんあって	130,000	地域の居場所作り事業
2	伊東市	伊東市女性連盟・伊豆高原 きらめき	110,000	大先輩と子ども達に楽しみをプレゼント
3	富士宮市	ウクレレ同好会	133,000	介護施設音楽慰問
4	沼津市	NPO 法人すずらんの会 ネットワーク	300,000	生活支援担い手養成講座
5	静岡市 清水区	特定非営利活動法人 しずおか障がい者 フライングディスク協会	300,000	地域における障がい者スポーツ活動の普及啓発事業
6	島田市	まいせるふ	300,000	親育ち、子育ち「いきいき子育て勉強会」
7	静岡市 葵区	楽笑クラブ東鷹	105,000	居場所づくりを通して、人と人とのつながりを広めいきいき健康で笑いがつどう会
8	三島市	遊水匠の会	300,000	STOP ザ・ボケ「歌声喫茶」街角サロン
9	御前崎市	特定非営利活動法人 御前崎災害支援ネットワーク	200,000	防災講演会「コミュニティで支えるインクルーシブ防災」（仮）
10	島田市	麦の会 サヨばあちゃんの休憩所	295,000	麦の会　サヨばあちゃんの休憩所
11	三島市	東部ＴＡ研究会	231,559	「子どもの心の育て方、育ち方」
12	静岡市 葵区	駒形でんでん虫の会	141,000	高齢者健康長生き事業
13	袋井市	袋井市災害ボランティアの会	300,000	地震防災紙芝居の作成と実演
14	藤枝市	おんじま 4948（よくしよう）会	300,000	ほっとな居場所「おんじま」
15	磐田市	見附宿　いっぷく処	100,000	高齢者と子育て主婦、子どもとの交流会

16	磐田市	青年のつどい“かりんとう”	100,000	ハッピースノーツアー
17	湖西市	特定非営利活動法人ポレポレ	300,000	寺子舎　野遊び
18	焼津市	焼津市認知症家族会　ひまわりの会	290,000	認知症介護川柳作品集続編の制作と配布
19	静岡市 葵区	特定非営利活動法人 男女共同参画フォーラム しずおか	228,000	ひとり親サポーター養成講座 in しずおか
20	静岡市 清水区	特定非営利活動法人 AYU ドリーム	300,000	あゆむキッズ運営事業
21	静岡市 清水区	NPO はぐくむ	299,000	「五感学校」～見て、感じて、学ぶ～
22	静岡市 清水区	NPO 法人 WAC 清水さわやかサービス	辞　退	地域支援を考えるシンポジウム あなたは地域で安心して住み続けられますか？
23	浜松市 浜北区	ふじのくにニッポンの縁側フォーラム ～やさしい街静岡をつくる会～	300,000	やさしい街静岡勉強会
計			5,062,559	

＜【先駆的（モデル的)】地域福祉・ボランティア活動等活動推進助成事業＞

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	沼津市	特定非営利法人 静岡こころのサポートセンター	606,802	大学生による 「かかわりひろば」運営事業
2	静岡市 葵区	静岡市難病障害者協議会	辞　退	重度難病患者の災害時避難支援要領策定
3	静岡市 清水区	子どもと家族の相談室 寺子屋お～ぷん・どあ	1,000,000	「性的搾取及び子どもの貧困」予防事業
4	富士市	特定非営利活動法人 樹木いきいきプロジェクト	540,378	盆栽と楽しむ園芸療法 ～盆栽の里親を見つけた！～
計			2,147,180	

セルフヘルプ活動支援事業＞

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	富士市	富士圏域精神保健福祉連合会・はばたきの会	300,000	はばたきの会　平成27年度精神保健福祉講演会
2	焼津市	精神保健福祉ボランティア・ととろ	250,000	地域交流リフレッシュ事業
3	島田市	SCID-NET（静岡県中部難病ケア市民ネットワーク）	299,000	介護の次世代をこの手でつくろう！
4	西伊豆町	西伊豆いろは組（西伊豆失語症友の会）	127,000	第3回若い失語症者との交流会イン西伊豆
5	伊東市	伊東市介護家族の会	159,312	5周年事業会報誌・映画会
計			1,135,312	

＜東日本大震災に係る避難者交流活動助成事業＞

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	伊東市	とみおか子ども未来ネットワーク静岡支部	300,000	避難者交流支援事業
2	伊東市	子どもたちを放射能から守る伊豆の会	300,000	福島の子どもたちの保護ステイ
3	松崎町	こどもの未来プロジェクト･伊豆	辞　退	福島の子どもたち保護ステイ受け入れ事業
4	函南町	特定非営利活動法人HousingConsumers Association	280,000	福島県いわき市と静岡の交流シンポジウム
5	松崎町	松崎町石部地区棚田保全推進委員会	300,000	夢のかけ橋ふくしま・しずおか園児のふれあい交流促進事業
6	沼津市	NPO法人臨床心理オフィスBeサポート	300,000	静岡県の被災避難者のための防災教育キャンプ
7	静岡市葵区	特定非営利活動法人地域づくりサポートネット	300,000	ふじのくに避難者交流ツアー
計			1,780,000	

＜子育て支援活動支援事業＞

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	静岡市 駿河区	NPO 法人 place of peace	500,000	静岡市と近隣市の子育て支援者勉強会＆交流会
2	掛川市	NPO 法人　結び逢い	500,000	つながってる La！西部の子育て in 掛川
3	沼津市	特定非営利活動法人 日本沼津災害救援ボランティアの会	400,000	ＳＮＳ時代の子育て支援実践交流講座
4	浜松市	特定非営利活動法人はままつ子育てネットワークぴっぴ	500,000	子どもの防災でつなぐ子育て支援の輪
5	島田市	特定非営利活動法人 クロスメディアしまだ	500,000	KOLABOⅢ・子育て情報シンポジウム
6	富士宮市	母力向上委員会	500,000	子育てチーム交流会 2015
7	御殿場市	きのいい羊達おひさまキッズ	357,897	子どもと楽しむ工作や体あそびの研修会
8	磐田市	特定非営利活動法人 色彩心理診断士協会 COMPAS	500,000	みんなで子育て「カラフル・ブリッジ」事業
9	下田市	「遊・VIVA！」ネットワーク	400,000	賀茂地区子育て支援ネットワークスキルアップ研修交流会
合計			4,157,897	

平成27年度教員免許取得のための介護等体験事業（学校別決定者数一覧）

（単位：人）

No.	大学・学部名	人数
1	静岡英和学院大学	7
2	静岡産業大学　経営学部	23
3	静岡大学　教育学部	327
4	静岡大学　人文社会科学部	11
5	静岡大学　理学部	33
6	静岡文化芸術大学	14
7	東海大学　海洋学部	17
8	東海大学短期大学部　児童教育学科	98
9	常葉大学　瀬名キャンパス	208
10	常葉大学　浜松キャンパス	11
11	常葉大学　富士キャンパス	1
12	常葉大学短期大学部	10
13	日本大学　国際関係学部	52
14	浜松学院大学	27
15	鎌倉女子大学	6
16	京都外国語大学	2
17	京都教育大学	2
18	京都女子大学	8
19	京都造形芸術大学	5
20	京都大学　教育学部	2
21	京都府立大学	2
22	共立女子大学	1
23	玉川大学　通信教育部	11
24	桐朋学園大学	3
25	慶應義塾大学	1

No.	大学・学部名	人数
26	女子栄養大学	1
27	星槎大学	1
28	聖徳大学　通信教育部	2
29	創価大学　通信教育部	1
30	相模女子大学	4
31	大谷大学	1
32	津田塾大学	7
33	東京未来大学	1
34	同志社大学	9
35	日本女子大　通信教育部	1
36	日本大学　通信教育部	7
37	日本大学　理工学部	1
38	武蔵野音楽大学	5
39	明星大学　通信教育部	6
40	立正大学	1
41	佛教大学	1
42	國學院大學	2
合　計		933

平成２７年度みんなで支える地域福祉促進事業一覧

事業区分	社協名	事　業　名	事業費	県費補助額
県社協実施事業			円	円
	県社協	小地域福祉活動等の担い手養成研修事業	2,124,000	1,062,000
		地域福祉促進事業	376,000	188,000
	小計（県社協分）		2,500,000	1,250,000
市町社協実施事業	伊東市	地域生活支援事業	950,000	400,000
	伊豆市	地域生活支援等サービス体制整備事業	200,000	100,000
	掛川市	ひきこもり者支援事業	500,000	250,000
	菊川市	地域包括ケアにおける地域福祉推進事業	1,448,000	675,000
	御前崎市	福祉課題把握（福祉懇談会）事業	200,000	100,000
	御殿場市	認知症高齢者を支えるための地域包括ケアシステム構築体制整備強化事業	1,350,000	675,000
	小山町	住民参加型福祉サービス立上げ事業	502,000	251,000
	裾野市	住民参加型在宅福祉サービス互いさまサービス事業	840,000	420,000
	焼 津 市	ウエル(植える)ネットワーク“み～んなで野良菜園”	1,612,000	675,000
	清水町	清水町安心地域ささえあい　ネットワークづくり事業	546,880	273,000
	長泉町	小地域福祉活動連携強化事業	1,350,000	675,000
	南伊豆町	地域福祉人材育成事業	1,350,000	675,000
	熱海市	小地域福祉活動推進事業	1,350,000	675,000
	磐田市	小地域活動者育成事業	462,000	231,000
	牧之原市	地域包括ケアシステムの構築に係る取組事業	1,450,000	675,000
	小計（市町社協分）		14,110,880	6,750,000
合　　計			16,610,880	8,000,000

平成２７年度運営適正化委員会苦情受付合計、解決結果

（単位：件）

サービス種別	区分	苦情受付件数	苦情解決結果									
			①相談助言	②紹介伝達	③あっせん	④通知	⑤その他				⑥継続中	⑦意見・要望
							Ⅰ改善申入れ	Ⅱ申出人取下げ	Ⅲ事情調査不可	Ⅳ Ⅰ～Ⅲ以外		
高齢者福祉	①職員の接遇	13	13									
	②サービスの質や量	7	7									
	③説明・情報提供	1	1									
	④利用料											
	⑤被害・損害	2	2									
	⑥権利侵害	1	1									
	⑦その他	1	1									
	小計	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者福祉	①職員の接遇	21	21									
	②サービスの質や量	6	6									
	③説明・情報提供											
	④利用料											
	⑤被害・損害											
	⑥権利侵害	2	2									
	⑦その他	2	2									
	小計	31	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児童福祉	①職員の接遇	4	4									
	②サービスの質や量	3	3									
	③説明・情報提供	1	1									
	④利用料											
	⑤被害・損害											
	⑥権利侵害											
	⑦その他	2	2									
	小計	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	①職員の接遇	3	3									
	②サービスの質や量	2	2									
	③説明・情報提供	1	1									
	④利用料											
	⑤被害・損害											
	⑥権利侵害											
	⑦その他	1	1									
	小計	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	①職員の接遇	41	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②サービスの質や量	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③説明・情報提供	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤被害・損害	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥権利侵害	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦その他	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	73	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度障害者工賃アップ促進事業

No.	市町名	事業所名	申請機器	助成額（円）
1	熱海市	心象めぐみ会共同作業所	ブラザー職業用ミシン、ブラザー家庭用(装飾用)ミシン	176,000
2	御殿場市	のぞみ作業所	刺繍機能付きミシン	204,000
3	富士宮市	ライフサポートいずみ	かき氷器（電動式ブロックアイススライサー）	80,000
4	静岡市	地域活動センターありんこの里	計量高さ調整作業台	230,000
5	静岡市	ともの家	ガスオーブン	111,000
6	島田市	ワークセンターきらり	自動紐掛結束機	462,000
7	牧之原市	ワークセンターやまばと	菓子加工用テーブル（ワゴン棚）、のし台、パウンド型、天板	151,000
8	菊川市	きくがわ作業所	作業用机、椅子	377,000
9	浜松市	ワークセンターふたば	デロンギ業務用エスプレッソマシン	157,000
10	浜松市	グレースカフェ（ビオグレース）	ナノバブル水生成機	406,000
11	浜松市	多機能型事業所ひだまりのみち	冷蔵庫	202,000
12	浜松市	あぐり	自走草刈機	281,000
13	浜松市	引佐草の根作業所	職業用高速直線ミシン	80,000
14	浜松市	みのり	オリーブ苗(2 種類)	187,000
合計				3,104,000

平成27年度静岡県社会福祉施設運営費助成基金助成事業

区分	助成事業名	概　　要		件数	助成額（千円）
1	社会福祉事業振興のための助成 ＊助成対象 原則として、株式会社、有限会社等の営利法人を除く	(区分1) 第三者評価受審によるサービスの質の向上に向けた取組	良質かつ安心・安全なサービス提供実現のために推進する事業に対して助成	21	2,800
2-1		(区分2-1) 地域との連携・協働推進事業	住民の福祉の理解の向上に向けた取組や、地域に視点をあてた事業展開に関する公益的な取組	24	2,269
2-2		(区分2-2) 地域のセーフティネットを支える社会貢献事業	制度の狭間にある生活困難者への支援を行うため、総合相談活動及び経済支援を担うソーシャルワーカーの配置及び支援活動に対しての助成	6	1,111
3-1		(区分3-1) 研修受講による資質向上に向けた取組	職場外研修を受講させることにより、職員の定着及び資質向上を図る取組に対して助成	12	290
3-2		(区分3-2) ジョブコーチ養成促進事業	厚生労働大臣指定研修機関による第1号職場適応援助者養成研修を受講させることにより、職員の定着と利用者の就労支援を図る取組に対して助成	4	95
3-3		(区分3-3) 法人間連携による福祉人材の確保及び資質向上に向けた取組	複数の事業所が合同研修を行い、事業所間連携による人材の育成・定着を図る事業に対して助成	15	1,901
4		(区分4) 職員のメンタルヘルス対策に向けた取組	職員の心の不調を未然に防ぎ、働きやすい職場づくりを行うため、組織的かつ計画的なメンタルヘルス対策への取組に対して助成	13	1,586
5		(区分5) 法人経営の適正化に向けた取組	外部の専門家の指導による法人経営の適正化に向けた取組に対して助成	7	1,020
6		(区分6) 実践的な研究及び取組	社会福祉法人等において、施設運営や業務改善、地域福祉の向上等を目的とした先駆的な取組や研究に対して助成	11	3,099
7		(区分7) 福祉避難所設置促進事業	福祉避難所に指定された事業所において、自治会等との協定や訓練に対して助成	0	0
8-1	市町社会福祉協議会への助成	(区分8) 地域福祉の向上に向けた取組 ※助成条件 地域の社会福祉事業者と連携・協働して事業を実施すること	当事者の支援のため、レスパイトケアや当事者同士の集まりを企画・実施する取組に対して助成	0	0
8-2			地域の保健・医療・福祉に関するネットワーク構築を図り、それぞれが抱える課題の共通理解を深め、協働で地域の課題に対応する取組に対して助成	2	408
特	社会福祉事業振興のための助成	（特別助成） 継続的な実践研究事業	社会福祉法人等（法人による合同研究を含む）において、先駆的・研究事業であり、プレゼンテーションによってその成果・効果が他の模範となるようなすぐれた事業であると認められるものに助成	3	3,655
経	経営協への助成	各種別協への運営費、研修費助成			2,240
			総額	118	20,474

平成27年度民間社会福祉団体運営費の助成

No.	団　体　名	団体決算額	補助決算額	補助事業の内容
		円	円	
1	(福)静岡県社会福祉協議会	1,462,828	810,000	運営に要する経費
2	(福)静岡県身体障害者福祉会	3,840,000	3,735,000	〃
3	静岡県民生委員児童委員協議会	1,627,212	560,000	〃
4	静岡県社会福祉施設経営者協議会	4,266,466	3,160,000	〃
5	静岡県保育所連合会	8,378,841	610,000	〃
6	静岡県里親連合会	2,143,125	2,070,000	〃
7	静岡県知的障害者福祉協会	639,462	410,000	〃
8	静岡県保育士会	3,963,641	290,000	〃
9	静岡県肢体不自由児協会	294,749	130,000	〃
10	(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	3,253,676	500,000	〃
11	(公社)静岡県母子寡婦福祉連合会	3,091,637	390,000	〃
12	静岡県筋ジストロフィー協会	407,771	360,000	〃
13	静岡県手をつなぐ育成会	9,299,844	7,400,000	〃
14	静岡県自閉症協会	640,230	250,000	〃
15	(一社)静岡県子ども会連合会	6,155,971	3,340,000	〃
16	静岡県聴覚障害者親の会	221,639	110,000	〃
17	(一財)静岡県老人クラブ連合会	13,878,021	4,380,000	〃
18	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1,081,272	540,000	〃
19	(N)静岡県作業所連合会・わ	765,166	410,000	〃
	計	65,411,551	29,455,000	

平成27年度民間社会福祉活動促進事業（民間団体育成強化事業）

（単位：円）

団体名	No.	期間	事業名	事業実績報告	補助率	補助額
社会福祉法人 静岡県社会福祉 協議会	1	継	広報事業	6,201,845	5/10	847,000
	2	継	市町社会福祉協議会職員研修事業	1,029,770	6/10	428,000
	3	継	県社協団体助成	315,000	5/10	315,000
			計	**7,546,615**		**1,590,000**
社会福祉法人 静岡県身体障害者 福祉会	1	継	身体障害者福祉事業推進費	1,600,000	10/10	1,600,000
	2	継	身体障害者相談員活動事業費	1,250,000	8/10	1,000,000
	3	継	青壮年部女性部研修事業	1,000,000	6/10	600,000
	4	継	身体障害者機能回復促進事業	2,500,000	8/10	2,000,000
	5	継	身体障害者文化作品展開催事業	400,000	6/10	180,000
	6	継	視覚障害者地区別相談事業	188,000	8/10	150,000
	7	継	身体障害者自動車安全教室開催事業	313,000	8/10	250,000
	8	継	心臓障害者相談指導事業	180,000	8/10	100,000
	9	継	静岡県身体障害者福祉大会開催事業	500,000	5/10	200,000
			小計	**7,931,000**		**6,080,000**
（視覚障害者協会）	1	継	町づくり情報提供事業	637,110	10/10	620,000
	2	継	視覚障害者社会参加促進事業	1,213,613	10/10	1,080,000
	3	継	視覚障害者リーダー養成事業	275,470	6/10	150,000
			小計	**2,126,193**		**1,850,000**
（聴覚障害者協会）	1	継	聴覚障害者研修事業	400,000	6/10	228,000
	2	継	聴覚障害者スポーツ大会開催事業	1,236,000	8/10	828,000
	3	継	聴覚障害者健康増進事業	580,000	8/10	400,000
	4	継	聴覚・言語障害者生活相談事業	400,000	8/10	320,000
	5	単	東海聴覚者体育大会開催事業	2,535,000	定額	240,000
			小計	**5,151,000**		**2,016,000**
（車椅子友の会）	1	継	車椅子常用者研修会	600,209	6/10	360,000
	2	継	障害者アート技術教室	800,074	8/10	640,000
			小計	**1,400,283**		**1,000,000**
			計	**16,608,476**		**10,946,000**
静岡県民生委員児童 委員協議会	1	継	単位民児協会長研修事業	1,801,252	8/10	1,440,000
	2	継	主任児童委員研修事業	602,028	8/10	400,000
	3	継	相談技法に関する研修事業	633,842	8/10	500,000
			計	**3,037,122**		**2,340,000**
静岡県社会福祉法人 経営者協議会	1	継	児童福祉施設球技大会開催事業	1,020,000	6/10	390,000
	2	継	施設利用者作品奨励事業	369,004	5/10	150,000
			計	**1,389,004**		**540,000**

静岡県保育所連合会	1	継	静岡県保育研究大会	1,314,559	5/10	300,000
	2	継	新規採用職員研修	348,779	8/10	100,000
	3	継	育児相談研修会	481,577	8/10	100,000
	4	継	新規採用予定職員研修会	3,528,761	8/10	850,000
	5	継	民間園長研修会	1,111,795	8/10	225,000
			計	**6,785,471**		**1,575,000**
静岡県里親連合会	1	継	里親促進事業	915,360	8/10	660,000
	2	継	里親月間事業	505,000	10/10	500,000
	3	継	里親賠償責任保険事業	405,000	10/10	400,000
	4	継	里親研修事業	295,406	8/10	200,000
			計	**2,120,766**		**1,760,000**
静岡県知的障害者福祉協会	1	継	職員研究集会等開催事業	2,180,866	5/10	800,000
	2	継	職員研修所開設事業	1,336,806	5/10	610,000
	3	継	口腔衛生指導等委託事業	375,000	8/10	300,000
			計	**3,892,672**		**1,710,000**
静岡県保育士会	1	継	保育実務研修事業	797,198	8/10	270,000
	2	継	委託研究事業	1,747,010	5/10	455,000
	3	継	実践研修事業	502,964	8/10	210,000
	4	継	地域保育啓発事業	500,000	5/10	200,000
			計	**3,547,172**		**1,135,000**
静岡県肢体不自由児協会	1	継	療育図書等刊行事業	587,380	5/10	250,000
	2	継	肢体不自由児療育相談事業	380,000	8/10	290,000
	3	継	心身障害児指導者講習会	653,041	8/10	300,000
			計	**1,620,421**		**840,000**
一般社団法人静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	1	継	脳性マヒ児集団療育事業	2,403,279	8/10	1,210,000
	2	継	地域ケア育成指導事業	1,343,350	6/10	656,000
	3	継	肢体不自由児者集団療育事業	1,656,363	8/10	1,260,000
	4	継	ことばと心を育む集団療育事業	771,627	6/10	420,000
			計	**6,174,619**		**3,546,000**
公益社団法人静岡県母子寡婦福祉連合会	1	継	若年母子家庭研修会	651,779	6/10	390,000
	2	継	母子指導者研修会	598,000	8/10	478,000
	3	継	母子家庭支援研修会	222,693	6/10	132,000
	4	継	家庭生活支援員講習会	452,809	8/10	360,000
	5	継	母子父子家庭啓発事業	204,104	5/10	100,000
	6	単	第69回関東地区母子寡婦研究大会	5,381,000	定額	240,000
			計	**7,510,385**		**1,700,000**
静岡県筋ジストロフィー協会	1	継	集団検診・療育相談	400,035	8/10	320,000
	2	継	親子集団療育指導	1,380,004	8/10	1,100,000
			計	**1,780,039**		**1,420,000**

静岡県手をつなぐ育成会	1	継	知的障害者相談員等研修事業	1,643,065	8/10	1,300,000
	2	継	心身障害児者地域活動促進事業	1,200,000	6/10	720,000
	3	継	重症心身障害児者療育指導事業	200,000	8/10	160,000
			計	**3,043,065**		**2,180,000**
静岡県自閉症協会	1	継	保護者・指導者研修会	384,953	8/10	300,000
	2	継	自閉症児者療育訓練	1,595,857	8/10	1,140,000
			計	**1,980,810**		**1,440,000**
一般社団法人静岡県子ども会連合会	1	継	育成研修事業	2,500,105	5/10	1,246,000
	2	継	モデル子ども会開催事業	450,077	5/10	225,000
	3	継	子ども会活動振興研究事業	562,452	5/10	270,000
	4	継	子ども会活動作文募集及び表彰事業	682,386	10/10	682,000
	5	継	児童館構成委員研修事業	554,018	5/10	277,000
	6	単	関ブロジュニアリーダー研修大会事業	3,347,701	定額	240,000
			計	**8,096,739**		**2,940,000**
静岡県聴覚障害者親の会	1	継	生活相談事業	483,968	8/10	320,000
	2	継	役員研修事業	400,215	8/10	320,000
	3	継	聴覚障害理解啓発事業	500,322	8/10	400,000
	4	継	盲ろう者社会参加理解啓発事業	300,000	8/10	240,000
	5	単	盲ろう者全国大会	776,905	定額	240,000
			計	**2,461,410**		**1,520,000**
一般財団法人静岡県老人クラブ連合会	1	継	地域福祉人材養成事業	2,472,382	6/10	1,309,000
	2	継	活動推進相談員育成指導事業	1,795,388	6/10	1,071,000
	3	継	地域クラブ活性化推進事業	3,523,149	6/10	1,942,000
			計	**7,790,919**		**4,322,000**
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1	継	ホームヘルパー研修事業	1,086,311	8/10	855,000
	2	継	サービス提供責任者研修事業	1,124,143	8/10	880,000
			計	**2,210,454**		**1,735,000**
特定非営利活動法人静岡県作業所連合会・わ	1	継	職員研究集会等研修事業	1,441,550	8/10	520,000
	2	継	職員実技研修事業	404,804	8/10	320,000
			計	**1,846,354**		**840,000**
合　計				**89,442,513**		**44,079,000**

平成27年度民間社会福祉活動促進事業（地域福祉促進事業）

（単位：円）

団体名	No.	期間	事業名	事業実績報告	補助率	補助額
社会福祉法人 静岡県社会福祉 協議会	1	継	市町社会福祉協議会地域福祉活動等支援事業	2,512,398	8/10	1,745,000
	2	継	健康福祉推進ネットワーク事業	682,000	8/10	545,000
			計	**3,194,398**		**2,290,000**
社会福祉法人 静岡県身体障害者 福祉会	1	継	身体障害者スポーツ活動等健康増進事業	1,500,000	8/10	1,200,000
	2	継	身体障害者地域ふれあい奉仕活動事業	1,000,000	8/10	800,000
	3	継	身体障害者地域防災対策連携強化事業	1,250,000	8/10	1,000,000
	4	継	障害者自立支援福祉機器普及促進事業	1,800,000	10/10	1,800,000
			計	**5,550,000**		**4,800,000**
（視覚障害者協会）	1	継	視覚障害者地域ふれあい促進事業	1,031,152	8/10	800,000
			計	**1,031,152**		**800,000**
（聴覚障害者協会）	1	継	未来へはばたけみみの日大会開催事業	1,096,200	8/10	600,000
	2	継	手話活動研究事業	929,200	8/10	640,000
	3	継	静岡県手話通訳者等健康障害予防事業	1,450,000	10/10	1,450,000
			計	**3,475,400**		**2,690,000**
			小計	**10,056,552**		**8,290,000**
静岡県里親連合会	1	継	里親専門サポート事業	754,929	8/10	600,000
	2	継	里親地区研修事業	560,140	8/10	400,000
			計	**1,315,069**		**1,000,000**
静岡県知的障害者 福祉協会	1	継	障害者体力増進事業	1,150,076	8/10	865,000
	2	継	障害者創作作品展示事業	1,546,811	8/10	995,000
			計	**2,696,887**		**1,860,000**
一般社団法人静岡県 肢体不自由児者 父母の会	1	継	肢体不自由児者ふれあい体験研修事業	1,774,113	8/10	1,200,000
	2	継	親と子の自立支援宿泊訓練事業	5,676,559	8/10	3,200,000
			計	**7,450,672**		**4,400,000**
公益社団法人 静岡県母子寡婦 福祉連合会	1	継	親と子の心身健全育成推進事業	1,500,304	10/10	1,500,000
	2	継	地域ふれあい事業	1,000,348	8/10	800,000
			計	**2,500,652**		**2,300,000**
静岡県筋ジストロ フィー協会	1	継	筋ジストロフィー介護者研修事業	2,101,516	8/10	1,680,000
	2	継	筋ジストロフィー相談窓口事業	1,000,145	8/10	800,000
	3	継	筋ジストロフィーアビリティ探索事業	400,016	8/10	320,000
			計	**3,501,677**		**2,800,000**
静岡県手をつなぐ 育成会	1	継	知的障害者職業自立啓発事業	966,848	8/10	700,000
	2	継	地域交流・自立促進事業	3,187,500	8/10	2,550,000
			計	**4,154,348**		**3,250,000**
静岡県自閉症協会	1	継	自閉症児者野外集団訓練	1,563,997	8/10	1,250,000
	2	継	支援者育成事業	3,574,815	8/10	2,350,000
			計	**5,138,812**		**3,600,000**
一般社団法人静岡県 子ども会連合会	1	継	チャレンジ冒険・遊び事業	3,150,109	8/10	2,520,000
			計	**3,150,109**		**2,520,000**
一般財団法人 静岡県老人クラブ 連合会	1	継	シニアスポーツ普及推進事業	1,729,452	8/10	1,050,000
	2	継	クラブ解散休会等再興支援事業	1,486,915	8/10	1,050,000
			計	**3,216,367**		**2,100,000**
特定非営利活動法人 静岡県作業所連合会 ・わ	1	継	地域交流ふれあいスポーツ・レクリエーション事業	1,842,187	8/10	1,440,000
	2	継	「障害者週間」啓発事業	1,935,155	8/10	1,540,000
			計	**3,777,342**		**2,980,000**
合　計				**50,152,885**		**37,390,000**

平成２７年度研修評価表

分野		番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容	講　師	（会員）受講料	満足度（%）				満足度（件数）					担当課
														満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
組織力を高める	組織力強化	1	新任職員研修Ⅰ（中部1）	54	54	53	5/14 ～15	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設等の新規採用者及び経験年数2年未満の方	・講義「福祉サービスの理念・動向と新任職員への期待」 ・演習「福祉サービスの実践Ⅰ」 ・演習「職場生活の基本動作」	（福）天竜厚生会　救護施設清風寮　施設長　諸田　嘉人　氏 （福）あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 施設長代理　鶴田　安弘 氏	テキスト代等	75.0%	21.2%	0.0%	0.0%	39	11	0	0	2	研修課
			〃　（中部2）	54	54	51	5/28 ～29	2	〃			（福）桂　カリタス21 主任介護支援専門員　飯塚　哲男　氏 （福）炉暖会　居宅介護支援事業所　炉暖の郷　主任　土屋　博昭　氏		87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	40	6	0	0	0	
			〃　（中部3）	54	48	45	6/23 ～24	2	〃			聖隷クリストファー大学　社会福祉学部介護福祉学科　助教　落合克能　氏 （福）桂　カリタス21 主任介護支援専門員　飯塚　哲男　氏		86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	38	6	0	0	0	
			〃　（中部4）	54	45	44	10/20 ～21	2	〃			（福）復泉会　福祉居宅事業部　部長　増井　潤　氏 （福）あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 施設長代理　鶴田　安弘 氏		88.6%	9.1%	0.0%	0.0%	39	4	0	0	1	
			〃　（中部5）	54	41	38	11/25 ～26	2	〃			（福）十字の園　御殿場十字の園　施設長　宮島　克利　氏 （福）牧ノ原やまばと学園　法人本部　事務局長　大畑　彰弘　氏		69.4%	27.8%	2.8%	0.0%	25	10	1	0	0	
			〃　（東部）	54	59	57	7/8 ～9	2	三島商工会議所			（福）十字の園　御殿場十字の園　施設長　宮島　克利　氏 （福）炉暖会　居宅介護支援事業所　炉暖の郷　主任　土屋　博昭　氏		86.0%	8.8%	0.0%	0.0%	49	5	0	0	3	
			〃　（西部）	54	68	53	8/27 ～28	2	浜松市福祉交流センター			（福）桂　カリタス21　主任介護支援専門員　飯塚　哲男　氏 磐田市介護相談員　民生委員児童委員　栗原　寛美　氏		73.1%	19.2%	0.0%	0.0%	38	10	0	0	4	
		2	新任職員研修Ⅱ－1	54	28	27	3/1 ～2	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	新任職員研修Ⅰを受講した方	・演習「コミュニケーションの基本」 ・演習「組織活動の基本」 ・講義と演習「自己啓発の基本」	（福）あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 施設長代理　鶴田　安弘 氏 （福）炉暖会　居宅介護支援事業所　炉暖の郷　主任　土屋　博昭　氏 ※台風の為、日程を延期しⅡ－3として開催した。	テキスト代等	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	22	2	0	0	0	
			〃　Ⅱ－2	54	52	50	1/26 ～27	2	〃			（福）あしたか太陽の丘　静岡県立富士見学園　施設長代理　鶴田　安弘 氏 （一社）静岡県社会福祉士会　安部　典子　氏		88.0%	12.0%	0.0%	0.0%	44	6	0	0	0	
		3	中堅職員研修Ⅰ（中部）	54	55	52	4/23 ～24	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設等の経験年数が2年以上で係長・主任等の役職にない方	・講義「福祉サービスの理念・動向と中堅職員への期待」 ・演習「福祉サービスの実践Ⅱ」 ・演習「組織活動の自律的遂行」	元オイスカ高等学校　教育相談室長　栗原　寛美　氏 （福）復泉会　福祉居宅事業部　部長　増井　潤　氏	テキスト代等	45.8%	37.5%	6.3%	2.1%	22	18	3	1	4	
			〃　（東部）	54	52	45	7/23 ～24	2	三島商工会議所			（福）桂　カリタス21　主任介護支援専門員　飯塚　哲男　氏 （福）牧ノ原やまばと学園　法人本部　事務局長　大畑　彰弘　氏		60.5%	32.6%	4.7%	0.0%	26	14	2	0	1	
			〃　（西部）	54	42	40	8/20 ～21	2	浜松市福祉交流センター			（福）天竜厚生会　救護施設清風寮　施設長　諸田　嘉人　氏 聖隷クリストファー大学　社会福祉学部介護福祉学科 助教 落合　克能　氏		45.0%	42.5%	5.0%	0.0%	18	17	2	0	3	
		4	中堅職員研修Ⅱ	54	44	42	12/10 ～11	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	中堅職員研修Ⅰを受講した方	・演習「職場の問題解決」 ・演習「創意工夫と企画提案」ほか	（福）天竜厚生会　救護施設清風寮　施設長　諸田　嘉人　氏 （福）炉暖会　居宅介護支援事業所　炉暖の郷　主任介護支援専門員 土屋　博昭　氏	テキスト代等	64.9%	35.1%	0.0%	0.0%	24	13	0	0	0	
		5	中堅職員研修Ⅲ	54	24	23	2/4 ～5	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	中堅職員研修Ⅰ・Ⅱを受講した方	・演習「チームワークの促進」 ・演習「職員指導・育成の基本」	（福）桂　カリタス21　管理者・主任介護支援専門員　飯塚　哲男　氏 （福）牧ノ原やまばと学園　法人本部　事務局長　大畑　彰弘　氏	テキスト代等	68.2%	27.3%	0.0%	0.0%	15	6	0	0	1	
		6	指導的職員研修Ⅰ－1	54	67	49	6/10 ～11	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設等において主任・係長・事務長等の役職にある方	・講義「福祉サービスの理念・動向と指導的職員への期待」 ・演習「福祉サービスの実践Ⅲ」 ・演習「部門組織活動の管理」	ふるい後見事務所　古井　慶治　氏 （福）和松会　常務理事　板倉　幸夫　氏	テキスト代等	57.4%	34.0%	2.1%	0.0%	27	16	1	0	3	
			〃　Ⅰ－2	54	39	36	7/16 ～17	2	〃			（福）和松会　常務理事　板倉　幸夫　氏 磐田市介護相談員　民生委員児童委員　栗原　寛美　氏		63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	21	12	0	0	0	
		7	指導的職員研修Ⅱ	54	32	29	12/3 ～4	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	指導的職員研修Ⅰを受講した方	・演習「部門の問題解決・改善革新」 ・演習「リーダーシップの基本」 ・演習「職員指導・育成の展開」	（福）和松会　常務理事　板倉　幸夫　氏 磐田市介護相談員　民生委員児童委員　栗原　寛美　氏	テキスト代等	62.1%	34.5%	0.0%	0.0%	18	10	0	0	1	
		8	施設長等運営管理職員研修Ⅰ	54	20	19	9/7 ～8	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設等の施設長等の管理的職員	・講義「福祉サービスの理念・動向と運営管理職員への期待」 ・演習「福祉サービスの実践Ⅳ」	五味社会福祉士個人事務所　五味　保教　氏	テキスト代等	37.5%	37.5%	6.3%	0.0%	6	6	1	0	3	
		9	施設長等運営管理職員研修Ⅱ	54	6	5	12/14 ～15	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	施設長等運営管理職員研修Ⅰを受講した方	・演習「管理者の問題解決・課題形成」 ・講義と演習「管理者としての自己革新」 ほか	（福）和松会　常務理事　板倉　幸夫　氏 五味社会福祉士個人事務所　五味　保教　氏	テキスト代等	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5	0	0	0	0	
		10	介護・看護リーダーのための指導力養成講座（初級編）	50	44	44	6/23 7/23 8/25 9/17	4	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	介護保険施設・事業所に勤務して、初めてリーダーになった方、又はこれからリーダーになる予定の方	・介護保険施設のリーダーに必要な指導力の習得	介護老人保健施設　星のしずく　看介護部長　髙口　光子　氏	34,000 (22,000) テキスト代別途	70.0%	25.0%	2.5%	0.0%	28	10	1	0	1	
		11	相談員のための支援力アップ講座（中級編）	80	64	55	9/29	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する相談員（経験年数が、おおむね4年以上の方）	生活相談員の役割と業務について正しい理解と更なる支援力のための知識、技術の習得	福祉と介護研究所　代表　梅沢　佳裕　氏	6,000 (4,000)	71.2%	23.1%	1.9%	0.0%	37	12	1	0	2	
		12	福祉職場のための組織性向上講座	70	63	60	11/11	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	中堅職員に求められる組織人としての役割行動や、モチベーション向上のための知識、技能の習得	日本女子大学　人間社会学部　社会福祉学科　教授　久田　則夫　氏	6,000 (4,000)	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	54	5	0	0	0	
		13	高齢者施設の「多職種協働」講座	80	54	53	2/29	1	静岡市産学交流センター	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	施設内における各職種の役割を理解し、よりよいチームケアの実現に向けた知識を習得	（一社）日本ユニットケア推進センター　佐橋　麻里子　氏 特別養護老人ホーム晃の園 主任看護師　岡部　浩子　氏、教育課長　海野　やよい　氏 介護主任　原田　幸恵　氏、管理栄養士　松村　江美　氏	6,000 (4,000)	75.0%	20.8%	0.0%	0.0%	36	10	0	0	2	
		14	福祉職場の「困った」事例に学ぶ！リーダーの役割と人材育成の心得	100	90	78	11/17	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	介護人材「冬の時代」におけるスタッフ確保と定着促進のために、介護現場のリーダーに必要な人材育成の心得を学ぶ	日本福祉介護総研(株)　代表取締役会長　石都　英一　氏	6,000 (4,000)	85.1%	12.2%	0.0%	1.4%	63	9	0	1	1	

平成２７年度研修評価表

組織力を高める	組織力強化	15	効果の上がるOJT実践講座	60	42	40	10/23 11/13	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	人材育成の基本とされるOJTを意識的、計画的に進めるための考え方と手法の習得	関西福祉科学大学　社会福祉学部　教授　津田　耕一　氏	15,000 (10,000)	72.5%	20.0%	5.0%	0.0%	29	8	2	0	1	研修課
		16	職場研修のつくり方講座 【新規】	60	71	61	8/6	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	福祉職場の人材育成を図るため、OJTやOFF-JTを効果的に組み合わせながら計画・実施するための手法を学ぶ	日本女子大学　人間社会学部　社会福祉学科　教授　久田　則夫　氏	6,000 (4,000)	75.9%	17.2%	5.2%	0.0%	44	10	3	0	1	
		追加	災害研修の作り方講座 【新規】	60	56	52	3/9	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	自施設の災害課程を知り、その影響に備えるために必要な対策、施設内の研修内容の整理の活用方法を学ぶ	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 講師　鈴木　俊文　氏、浜口　　晋　氏　他	3,000 (2,000)	64.4%	33.3%	2.2%	0.0%	29	15	1	0	0	
		17	市町社協　新任職員研修	80	60	60	5/14- 5/15 11/6	3	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	当該年度採用職員及び未受講の方	社協職員としての心構え、福祉サービスの実践、組織活動に必要な知識	(福)静岡県社会福祉協議会地域福祉課職員 小山町社会福祉協議会　事務局長　原　秀人氏　ほか	無料	74.0%	16.0%	4.0%	0.0%	37	8	2	0	3	地域福祉課
		18	市町社協　トップセミナー	100	108	108	9/25	1	グランディエール ブケトーカイ「シンフォニー」	会長・役員・事務局長等	社協に求められている使命を共有・確認し、今後の方向性を展望	(福)恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂　氏 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 准教授　川上　富雄　氏　他	無料	56.4%	38.2%	3.6%	0.0%	31	21	2	0	1	
組織力を高める	（運営・労務・人事）	19	人事考課・評価講座	60	38	37	5/20	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する管理監督者クラスの方	職員の能力を更に活かす為、人材育成の観点から人事考課・評価の考え方を学ぶ	(株)話し方教育センター　講師　橋本　武　氏	6,000 (4,000)	55.6%	38.9%	2.8%	0.0%	20	14	1	0	1	研修課
		20	社会福祉法人　経営戦略セミナー （県社会福祉法人経営者協議会）	300	284	248	11/30 12/17,18,22	4	ﾌﾞｹﾄｰｶｲ、ﾌﾟﾗｻｳﾞｪﾙﾃﾞ、ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ、ｱｸﾄｼﾃｨ浜松	社会福祉法人の役職員	社会福祉法人の健全な経営や施設経営の基盤強化を図る	厚生労働省社会・援護局　地域福祉課長　金井　正人 氏 独立行政法人福祉医療機構　経営サポートセンター　千葉　正展 氏 有限責任監査法人トーマツ　公認会計士 伊藤　誠一 氏	1,000	25.4%	31.0%	5.2%	1.6%	63	77	13	4	91	経営支援課
		21	社会福祉法人　経営セミナー （県社会福祉法人経営者協議会）	100	94	87	6月	1	クーポール会館	社会福祉法人の役職員	社会福祉法人の今日的課題と各種制度改革への対応について	上智大学社会福祉学科　准教授　藤井　賢一郎　氏	無料	90.8%	9.2%	0.0%	0.0%	79	8	0	0	0	
		22	社会福祉法人　監事監査研修会	700	796	766	4/15 4/17	2	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）	社会福祉法人の監事・役職員	実態のある適正な監査が実施されるための監事の役割と業務・会計監査のポイントについて	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員） 全国社会福祉法人経営者協議会　副会長　武居敏　氏	5,000 (3,000)	44.0%	49.0%	2.0%	1.0%	84	94	3	1	7	
		23	社会福祉法人　運営管理研修会	200	242	222	7/22,28	2	掛川市生涯学習センター、ふじさんめっせ	社会福祉法人の役職員	社会福祉法人の経営全般にわたる運営管理について学ぶ（マイナンバー制度への対応）	赤堀社会保険労務士事務所　代表　赤堀　久士　氏	5,000 (3,000)	35.6%	32.9%	4.1%	0.5%	79	73	9	1	60	
		24	新設社会福祉法人　運営管理説明会	20	24	23	2/26	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	新設社会福祉法人の役職員等	法人設立の手続き、総合的な施設運営管理の適正化を図るために必要な知識、情報の提供	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員） 静岡県福祉指導課主幹　佐野　敏子　氏	テキスト 代等	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%	11	6	0	0	0	
		25	社会福祉施設　人事・労務管理研修会	180	228	203	5/27 6/2,10	3	ﾌﾟﾗｻﾞｴﾙﾃﾞ、ｱｸﾄｼﾃｨ浜松、あざれあ	社会福祉施設役職員	社会福祉施設における人事、労務管理の具体的な対策について	赤堀社会保険労務士事務所　代表　赤堀　久士　氏	4,000 (3,000)	46.8%	15.3%	13.3%	6.9%	95	31	27	14	36	
		26	福祉・介護人材確保実践セミナー	150	111	85	11/24	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	福祉・介護事業所経営者等	・人材確保・定着に向けて ～法人間連携により課題解決を目指す～ ・優秀な人材確保のために実践すべきこと	リガーレ暮らしの架け橋グループ本部 地域密着型総合ケアセンターきたおおじ　代表　山田 尋志　氏 大学新聞社東京教育事業部企業広報開発課 マネージャー　内田 琢二　氏	無料	32.4%	53.5%	7.0%	0.0%	23	38	5	0	5	人材課
組織力を高める	財務・経理	27	社会福祉法人　簿記入門講座	100	125	120	6/15	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	新人会計実務担当者	社会福祉法人会計の基礎的な簿記の理解と知識の習得	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	5,000 (3,000)	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	59	37	0	0	0	経営支援課
		28	社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	150	152	146	6/16・19	1	静岡労政会館	会計実務担当者	新会計基準を踏まえた、社会福祉法人の経理の基礎的な会計処理の理解と、知識の習得を図る	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	5,000 (3,000)	69.0%	29.9%	1.1%	0.0%	60	26	1	0	0	
		29	社会福祉法人・施設事務職員 経理応用講座	250	375	373	7/13 7/14 7/17	1	静岡県コンベンションアーツセンター 静岡労政会館	会計実務担当者	新会計基準による社会福祉法人会計の経理実務に関する高い知識と正確な技術の習得を図る	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	5,000 (3,000)	54.4%	43.6%	0.7%	0.0%	81	65	1	0	2	
		30	社会福祉法人　財務管理講座	150	－	－	中止	1	静岡労政会館	社会福祉法人、社会福祉施設の役職員	社会福祉法人会計における財務管理についての理解と、正確な知識の習得及び経営改善を図るための実務処理を学ぶ	－	5,000 (3,000)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		31	社会福祉法人・施設職員　税務実務講座（所得税等）	150	120	115	12/1	1	静岡労政会館	会計実務担当者	社会福祉法人会計における所得税・印紙税に係る実務処理を学ぶ	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	5,000 (3,000)	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%	53	22	0	0	0	
		32	社会福祉法人　決算実務講座	300	449	412	2/16	1	静岡労政会館	会計実務担当者	社会福祉法人の決算実務の理解と知識の向上	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	5,000 (3,000)	49.5%	40.4%	7.3%	0.9%	54	44	8	1	2	
		33	社会福祉法人　予算管理講座 【新規】	150	472	445	1/15 1/21	1	静岡商工会議所静岡事務所会館	会計実務担当者	社会福祉法人の新会計基準における予算の執行及び管理に必要な知識の習得を図る	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	5,000 (3,000)	68.5%	28.6%	2.4%	0.0%	170	71	6	0	1	
		34	市町社協　会計実務研修会	60	60	60	6/22	1	静岡市産学交流センター	会計実務担当者	新会計基準に係る社会福祉法人の決算実務の理解と知識を学ぶ	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	無料	55.8%	40.4%	3.8%	0.0%	29	21	2	0	0	地域福祉課
		35	市町社協　決算実務研修会	60	66	66	2/2	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	総務・会計担当者	会計実務処理等	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	無料	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%	24	27	3	0	0	
組織力を高める　小計				4,846	5,118	4,777								59.2%	29.3%	3.2%	0.7%	1,888	934	101	23	243	

平成２７年度研修評価表

専門技術力を身に付ける	利用者の日常支援	36	介護技術基礎講座（基礎編）	48	48	45	6/18 ～19	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	・講義「体の仕組みと働きの理解」 ・実技「基礎介護技術のポイント」	介護福祉士会　飯田　泰子 氏、竹内　みち子 氏・小長谷　伊津子氏 酒井　多加子　氏	18,000 (12,000)	65.9%	31.8%	2.3%	0.0%	29	14	1	0	0	研修課
		37	介護技術基礎講座（応用編） 【新規】	48	26	24	6/25 ～26	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等で、過去に基礎編又は介護技術基礎講座を受講した方	生活場面に即した実践的介護技術の習得	介護福祉士会　飯田　泰子 氏、竹内　みち子 氏・小長谷　伊津子氏 酒井　多加子　氏	18,000 (12,000)	79.2%	20.8%	0.0%	0.0%	19	5	0	0	0	
		38	口腔のケア講座	50	56	51	10/9	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・技術の習得	静岡歯科衛生士専門学校　非常勤講師 認定歯科衛生士（老年）　小宮山　ひろみ　氏 米山歯科クリニック　訪問部 認定歯科衛生士（老年）・介護福祉士　杉山　総子　氏	6,000 (4,000)	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%	46	5	0	0	0	
		39	介護職が知っておきたい高齢者の皮膚ケア講座	70	106	74	7/22	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職の方	高齢者の皮膚疾患の早期発見と褥瘡予防のために、皮膚の観察・ケアについて基礎的方法を学ぶ	静岡済生会総合病院　皮膚・排泄ケア認定看護師　河合　幸　氏	6,000 (4,000)	67.1%	22.9%	5.7%	0.0%	47	16	4	0	3	
		40	排泄ケア講座	70	60	57	10/27	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	介護職に必要な排泄ケアの基礎的知識の習得	順天堂大学　保健看護学部　准教授　藤尾　祐子　氏	6,000 (4,000)	60.7%	33.9%	0.0%	0.0%	34	19	0	0	3	
		41	フットケア講座	60	43	39	10/22	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者への支援方法としてフットケア・足指ケアの知識・技術の習得	（合）SANUA湯河原接骨院グループ　総院長　青柳　博　氏	6,000 (4,000)	87.2%	10.3%	0.0%	0.0%	34	4	0	0	1	
		42	感染症講座(初級編)	100	119	117	6/9	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	社会福祉施設や介護保険事業所において、主に高齢者や障害のある方を支援する職員に必要な、感染症の基礎的知識と予防方法の習得	静岡済生会総合病院　感染対策室 看護師長　感染管理認定看護師　杉村　きよ美　氏	5,000 (3,000)	73.1%	23.1%	0.0%	0.0%	79	25	0	0	4	
		43	感染症講座(中級編)	100	89	84	10/6	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	「初級編」を受講した方、または感染症の「標準予防策」について基礎知識がある方	社会福祉施設や介護保険事業所において、主に高齢者や障害のある方を支援する職員に必要な、感染症の実践的知識と予防方法の習得	静岡済生会総合病院　感染対策室 看護師長　感染管理認定看護師　杉村　きよ美　氏	5,000 (3,000)	78.8%	17.5%	0.0%	0.0%	63	14	0	0	3	
		44	感染症講座(児童編)	50	32	26	8/5	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	保育所等、児童福祉施設に勤務する方	児童に特有な感染症を中心として、基礎的知識と予防方法、及び家庭や医療機関との連携等について学ぶ。	静岡済生会総合病院　感染対策室 看護師長　感染管理認定看護師　杉村　きよ美　氏	5,000 (3,000)	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	24	2	0	0	0	
		45	介護職のための薬の基礎知識	100	97	95	8/7	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	介護職に必要な薬の基礎的知識の習得	薬局　ルンルンファーマシー　代表取締役　藤澤　節子　氏	5,000 (3,000)	56.7%	34.4%	3.3%	0.0%	51	31	3	0	5	
		46	急変を見逃さないための救急講座①	60	59	55	12/17	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	利用者の容体の変化を見逃さずに対応するために必要な知識・技術の習得	静岡済生会総合病院　救命救急センター　川井　和枝　氏　他	7,000 (5,000)	92.7%	5.5%	1.8%	0.0%	51	3	1	0	0	
			〃　②	60	51	48	12/18	1	〃					87.5%	10.4%	2.1%	0.0%	42	5	1	0	0	
		47	ターミナルケア入門講座	100	108	102	9/3	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所に勤務する方	ターミナルケアの実際を理解し、終末期の対応や、家族へのケア方法を学ぶ	（特非）メイアイヘルプユー理事　保健師　鳥海　房枝　氏	5,000 (3,000)	79.4%	20.6%	0.0%	0.0%	81	21	0	0	0	
		48	精神疾患の理解	60	101	95	11/10	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	精神疾患、うつ、統合失調症などの知識を習得するとともに、症状に応じた支援方法を学ぶ	（公財）復康会　沼津中央病院　医療相談課長　澤野　文彦　氏 （静岡県精神保健福祉士協会　会長）	6,000 (4,000)	76.7%	23.3%	0.0%	0.0%	69	21	0	0	0	
		49	介護予防のためのレクリエーション	70	68	65	10/14	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設または介護保険事業所に勤務する方	介護予防のためのレクリエーションの知識と技術の習得	居場所づくり研究所　代表　田井中　正志　氏	6,000 (4,000)	82.8%	14.1%	0.0%	0.0%	53	9	0	0	2	
		50	タッピングタッチ基礎講座	60	60	59	6/30	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	利用者のストレスや不安を和らげる手法としての「タッピングタッチ」の基本的知識と技術の習得	タッピングタッチ協会　認定インストラクター　高野　順也　氏 他　アシスタントインストラクター3名	6,000 (4,000)	66.1%	32.2%	0.0%	0.0%	39	19	0	0	1	
		51	快適なシーティング入門セミナー 【新規】	60	50	47	12/2	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	生活場面における正しい座り方の技術や拘縮予防の方法などを学ぶ	（有）でくエ房　取締役会長　光野　有次　氏 （シーティングエンジニア）	6,000 (4,000)	47.7%	38.6%	11.4%	2.3%	21	17	5	1	0	
		52	生活場面から見る 利用者の身体観察のポイント 【新規】	60	112	92	9/15	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者の健康を守るため、体調の変化、疾患の悪化などの「観察力」を高める	（有）ファイブアローズ　取締役　岩下　由加里　氏 （看護士、介護福祉士、介護支援専門員）	6,000 (4,000)	80.0%	18.9%	1.1%	0.0%	72	17	1	0	0	
		53	社会福祉ミニセミナー（A） ～マイナンバー実務基礎講座～	200	49	46	2/2	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等の実務担当職員	「マイナンバー」の実務上の取扱い、業務フロー作成に係る注意点について理解する。	赤堀社会保険労務士事務所　赤堀　久士　氏	3,000 (2,000)	60.8%	35.3%	3.9%	0.0%	31	18	2	0	0	
			社会福祉ミニセミナー（B） ～成功事例から学ぶ、福祉事業所のキャリアパス制度導入セミナー～	100	45	42	2/17	1	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）	市町社会福祉協議会、社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	「キャリアパスの事例」、行政職員からの介護職員処遇改善加算の説明により、職員給料アップと定着、案敵的な事業所運営の手法を学ぶ	静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課　武田　幸人　氏 （福）和松会　軽費老人ホーム和松会　施設長　板倉　幸夫　氏	3,000 (2,000)	42.4%	27.3%	18.2%	0.0%	14	9	6	0	4	

平成２７年度研修評価表

専門技術力を身につける	認知症ケア	54	認知症高齢者支援講座	120	111	107	6/8	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	・認知症高齢者の基本的介護の見方、考え方 ・認知症高齢者への対応	介護老人保健施設　星のしずく　看介護部長　髙口　光子　氏	5,000 (3,000)	85.7%	11.4%	0.0%	0.0%	90	12	0	0	3	研修課
		55	認知症の人のためのレクリエーション	60	105	68	5/21	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	認知症の方のためのレクリエーションの知識と技術の習得	（福）興寿会　教育実践センター 認知症介護レクリエーション実践研修センター 所長代理 尾渡　順子 氏	6,000 (4,000)	82.1%	14.9%	0.0%	0.0%	55	10	0	0	2	
		56	認知症のBPSDを考えるセミナー 【新規】	120	139	130	8/10	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	認知症の方の行動や心理症状を理解し、利用者へのより良い関わり方について考える	生活とリハビリ研究所　代表　三好　春樹　氏	5,000 (3,000)	80.5%	14.6%	0.8%	0.0%	99	18	1	0	5	
		57	認知症介護実践研修（浜松）	80	895	79	6月～ 8月	6	浜松市福祉交流センター	介護保険施設、事業所等の経験年数が2年以上の方	認知症高齢者介護の基本的理念、基本的知識及び技術の習得（全6日＋実習）	静岡県認知症介護指導者の会　ほか	43,000	86.1%	13.9%	0.0%	0.0%	62	10	0	0	0	
			〃　（三島）	80		80	6月～ 8月	6	三島商工会議所					84.0%	8.0%	0.0%	0.0%	63	6	0	0	6	
			〃　（静岡）	80		78	7月～ 9月	6	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）					86.3%	13.7%	0.0%	0.0%	63	10	0	0	0	
			〃　（富士）	80		79	7月～ 9月	6	ふじさんメッセ					83.1%	14.5%	0.0%	0.0%	69	12	0	0	2	
			〃　（掛川）	80		78	7月～ 9月	6	掛川市生涯学習センター					80.3%	11.3%	0.0%	2.8%	57	8	0	2	4	
		58	認知症介護実践リーダー研修 （中部）	30	31	28	10月～ 1月	10	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	高齢者介護実務経験5年以上で、認知症介護実践研修修了者	「認知症介護のあり方」「認知症介護のための組織論」「認知症介護の実践技法」「人材育成のための技法」（全9日＋他施設実習1日＋実習）	静岡県認知症介護指導者の会　ほか	80,000	35.7%	39.3%	7.1%	0.0%	10	11	2	0	5	
			〃　（西部）	30	18	16	10月～ 1月	10	浜松市福祉交流センター					68.8%	25.0%	0.0%	0.0%	11	4	0	0	1	
		59	認知症対応型サービス事業 管理者研修　（東部）	70	50	49	1/14 1/15	2	三島商工会議所	認知症対応型通所介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所・認知症高齢者共同生活介護事業所の管理者	（行政からの受託研修、募集・申込先は行政）	静岡県認知症介護指導者の会　ほか	4,500	69.4%	26.5%	2.0%	0.0%	34	13	1	0	1	
			〃　（中部）	70	68	67	12/16 12/24	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）					62.1%	34.8%	1.5%	0.0%	41	23	1	0	1	
			〃　（西部）	70	42	43	1/12 1/22	2	浜松市福祉交流センター					69.0%	23.8%	0.0%	2.4%	29	10	0	1	2	
		60	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修（中部）	35	42	41	2/3 2/4	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者であって認知症介護実践研修修了者	（行政からの受託研修、募集・申込先は行政）	小規模多機能型居宅介護事業所　まほろば　施設長　秋山　幸枝　氏 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会　事務局長　山越　孝浩　氏	6,000	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	30	10	0	0	0	
			〃　（西部）	35	36	36	2/8 2/9	2	浜松市福祉交流センター					88.9%	5.6%	2.8%	0.0%	32	2	1	0	1	
		61	認知症対応型サービス事業開設者研修	50	26	26	10/30	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所・認知症高齢者共同生活介護事業所の代表者	（行政からの受託研修、募集・申込先は行政）	静岡県認知症介護指導者の会　ほか	5,000	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	17	6	0	0	0	

平成２７年度研修評価表

専門技術力を身につける	リスク防止	62	介護記録の書き方講座	60	66	62	6/17	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	入所の老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	介護職に必要な介護記録の書き方の基礎的知識の習得	対人援助スキルアップ研究所　所長　佐藤　ちよみ　氏	6,000 (4,000)	75.8%	17.7%	0.0%	0.0%	47	11	0	0	4	研修課
		63	リスクマネジメント講座	100	127	124	9/18	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	施設・事業所の危機管理・安全管理に必要な基礎的知識・技術の習得	(株)安全な介護　代表　山田　滋　氏	6,000 (4,000)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	87	29	0	0	0	
		64	高齢者の転倒予防講座	70	70	66	1/28	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者の転倒予防について、必要な知識・技能の習得	静岡リハビリテーション病院 事務長兼リハビリテーション部次長　熊谷　範夫氏	6,000 (4,000)	82.8%	12.5%	3.1%	1.6%	53	8	2	1	0	
		65	施設における高齢者虐待予防のためのワークショップ	60	49	49	3/8	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者への虐待や不適切なケアを防ぐための考え方や手法の習得	AAA研究会 立正大学　社会福祉学部　社会福祉学科　准教授　土屋　典子　氏	6,000 (4,000)	77.6%	20.4%	0.0%	0.0%	38	10	0	0	1	
		66	福祉サービス苦情解決研修会 （西部・中部・東部×各1回）	240	250	231	8/4 8/5 10/2	3	静岡市民文化会館 三島商工会議所 アクトシティ浜松研修交流センター	第三者委員会・苦情解決責任者・苦情受付担当者	苦情解決の意義と目的についての講義とグループワーク	東洋大学　社会学部社会福祉学科　教授　高山直樹　氏	3,000	56.3%	38.7%	3.6%	0.5%	125	86	8	1	2	地域福祉課
	職業別	67	栄養士・調理員研修	70	47	46	1/25	1	静岡市産学交流センター	社会福祉施設、介護保険事業所に勤務する栄養士、調理員等	栄養士、調理員に必要な知識・理論の習得	地域栄養ケアPEACH厚木 代表　江頭　文江　氏（摂食・嚥下アドバイザー　管理栄養士）	6,000 (4,000)	79.1%	20.9%	0.0%	0.0%	34	9	0	0	0	研修課
		68	看護師研修	70	40	38	2/3	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設等に勤務する看護師	社会福祉施設に勤務する看護師に必要な知識・技術の習得	特別養護老人ホームぬまづホーム　次長　渡邊　浩美　氏	5,000 (3,000)	92.1%	7.9%	0.0%	0.0%	35	3	0	0	0	
		69	ホームヘルパー全体研修 （県ホームヘルパー連絡協議会）	200	52	48	6/24	1	静岡市産学交流センター	ヘルパー協会員等	介護職のリーダーを育成する必要性	介護老人保健施設星のしずく看・介護部長、理学療法士　高口　光子　氏	無料	87.5%	2.1%	0.0%	0.0%	42	1	0	0	5	経営支援課
		70	ホームヘルパー一般研修① （県ホームヘルパー連絡協議会）	60	36	33	7/29	1	山口駅前ビル	ヘルパー協会員等	現場に活かすコミュニケーション技術を習得する	静岡コーチングアカデミー校長　酒井　美保氏	2,000	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	27	6	0	0	0	
			〃　②	60	45	42	8/19	1	男女共同参画センターあざれあ	ヘルパー協会員等	認知症の認知症の方への対応と工夫	(N)楽　理事長、前東洋大学ライフデザイン学科　准教授　柴田　範子　氏	2,000	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%	40	2	0	0	0	
			〃　③	30	24	22	10/8	1	アイセル21	ヘルパー協会員等	時間短縮メニューとレシピ紹介	浜松調理菓子専門学校　神谷　紀代美　氏	2,000	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%	18	2	2	0	0	
			〃　④	50	31	29	1/19	1	山口駅前ビル	ヘルパー協会員等	ホームヘルパーに必要な利用者の健康管理	順天堂大学保健看護学部　准教授　藤尾　祐子　氏	2,000	82.8%	17.2%	0.0%	0.0%	24	5	0	0	0	
		71	ホームヘルパー管理者研修 （県ホームヘルパー連絡協議会）	60	35	30	2/22	1	男女共同参画センターあざれあ	ヘルパー協会員等(訪問介護事業所管理者及びサービス提供責任者、中堅ヘルパー等)	訪問介護におけるリスクマネジメント	㈱福祉リスクマネジメント研究所所長、びわこ学院大学教授　烏野　猛　氏	2,000	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	26	4	0	0	0	
		72	サービス提供責任者研修① （県ホームヘルパー連絡協議会）	60	69	62	7/29	1	静岡労政会館	ヘルパー協会員等 （サービス提供責任者、中堅ヘルパー等）	実地指導対策と法令順守を学ぶ	㈱ねこの手　代表取締役　伊藤　亜紀　氏	2,000	71.0%	17.7%	0.0%	1.6%	44	11	0	1	6	
			〃　②	60	42	35	9/17	1	静岡労政会館	ヘルパー協会員等 （サービス提供責任者、中堅ヘルパー等）	スキルアップ・ステップアップの方法論	聖隷クリストファー大学社会福祉学部介護福祉学科　准教授　野田　由佳里　氏	2,000	82.9%	11.4%	0.0%	0.0%	29	4	0	0	2	
			〃　③	60	24	23	11/12	1	静岡県教育会館	ヘルパー協会員等 （サービス提供責任者、中堅ヘルパー等）	地域包括ケアにおける訪問介護事業所のあり方	大妻女子大学　名誉教授　是枝　祥子　氏	2,000	78.3%	17.4%	0.0%	0.0%	18	4	0	0	1	
			〃　④	50	43	38	1/21	1	静岡県教育会館	ヘルパー協会員等 （サービス提供責任者、中堅ヘルパー等）	サ責の仕事術を考える	金沢春日ケアセンターヘルパーステーション 管理者　鍋谷　晴子　氏 (全国ホームヘルパー協議会副会長、)	2,000	76.3%	13.2%	0.0%	0.0%	29	5	0	0	4	
		73	肢体不自由児療育指導者講習①－１ （県肢体不自由児協会）	30	40	39	6/19	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	肢体不自由児の総論（入門講座）	静岡医療福祉センター　森山　明夫　氏、望月　祐介　氏 静岡大学　香野　毅　氏 県立中央特別支援学校　望月　導章　氏	3,500	43.6%	51.3%	2.6%	2.6%	17	20	1	1	0	
			〃　①－２	30	30	30	6/20	1	静岡医療福祉センター	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	訓練の基本（実技を含む）	静岡医療福祉センター　望月　達夫　氏、森山　明夫　氏、山内　一之　氏、 橋本　尚幸　氏	3,500	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	28	2	0	0	0	
		74	肢体不自由児療育指導者講習②－１ （県肢体不自由児協会）	30	47	44	7/24	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	脳性麻痺の概論	静岡医療福祉センター　望月　達夫　氏 つばさ静岡　山倉　慎二　氏 静岡てんかん神経医療センター　重松秀夫　氏 井出　容敬　氏	3,500	38.6%	54.5%	6.8%	0.0%	17	24	3	0	0	
			〃　②－２	30	37	37	7/25	1	静岡医療福祉センター		脳性麻痺の訓練入門（実技を含む）	静岡医療福祉センター　山内　一之　氏	3,500	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	31	2	0	0	0	
		75	肢体不自由児療育指導者講習③－１ （県肢体不自由児協会）	30	40	37	8/28	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	脳性麻痺の概論	つばさ静岡　浅野　一恵　氏 こども病院　加藤　光剛　氏、鴨下　賢一　氏、北野　市子　氏	3,500	83.8%	16.2%	0.0%	0.0%	31	6	0	0	0	
			〃　③－２	30	39	35	8/29	1	静岡医療福祉センター		脳性麻痺の訓練入門（実技を含む）	静岡医療福祉センター　山内　一之　氏	3,500	84.8%	12.1%	3.0%	0.0%	28	4	1	0	0	

平成２７年度研修評価表

専門技術力を身につける	職業別	76	社協＜CW＞職員研修 【プレゼンテーション編】	30	13	13	8/3	1	静岡市産学交流センター	市町社協職員	地域住民等へ地域福祉活動について分かり易く説明する技術を習得	国際プレゼンテーション協会　副理事長　脇谷　聖美　氏	無料	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	7	1	0	0	0	地域福祉課
			社協＜CW＞職員研修 【地域アセスメント編】	30	13	13	10/26	1	静岡市産学交流センター	市町社協職員	住民ニーズ、生活課題、社会資源などの地域情報を把握、分析する地域アセスメントの手法を学ぶ	駒澤大学　文学部　社会学科　准教授　川上　富雄　氏	無料	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	11	2	0	0	0	
			市町社協地域福祉担当者会議 ～社協と社会福祉施設に連携を考える～	30	21	21	9/3	1	静岡市産学交流センター	市町社協職員	社会福祉法人の公益的活動の義務化に伴い、社協と社会福祉施設の連携・協働の手法を学ぶ	天竜厚生会　理事長　山本　たつ子　氏	無料	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	11	5	0	0	0	
		77	ボランティアコーディネーター研修 （基礎編）	40	22	20	7/25	1	ふじのくに千本松フォーラム （プラサヴェルデ）	地域においてボランティアコーディネートに関わる方等	ボランティアコーディネーターとして必要な知識と技術の習得を図る（ボランティアコーディネーション力検定3級試験の実施）	（特非）日本ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ協会 理事 唐木　理恵子 氏	6,376	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	10	9	1	0	0	
		78	ボランティアコーディネーター研修 （応用編）	120	46	46	12/3 12/7 12/17	3	静岡市産学交流センター	市町社協ボランティアコーディネーター各施設職員等	基礎編を受講した人を対象にボランティアコーディネート技術のスキルアップを図る	（特非）日本ボランティアコーディネーター協会 理事　小野　智明　氏、理事　疋田　恵子　氏、副代表理事　小原　宗一　氏	無料	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	33	9	0	0	0	
		79	市町社協　監事研修	40	38	38	4/24	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	市町社協監事	監事の業務・責務、監事監査について	(株)ビジネスパートナー　代表取締役　杉山　明喜雄　氏 （本会　経営指導員）	無料	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	27	6	0	0	0	
		80	市町社協　新任事務局長研修	5	5	5	4/28	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	市町社協新任事務局長	社協組織の特性、基本理念、法的な位置付け（設立経過）等	事務局	無料	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	3	2	0	0	0	
		81	市町社協災害ボランティア担当者会議	40	40	36	8/24	1	静岡市産学交流センター	市町社協職員	災害ボランティア本部運営に関する講義と演習	にいがた災害ボランティアネットワーク　事務局長　李　仁鉄　氏 JVOAD　準備会事務局　事務局長　明城　徹也　氏	無料	74.1%	25.9%	0.0%	0.0%	20	7	0	0	0	
		82	災害時要援護者支援シンポジウム	100	84	79	12/8	1	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）	社協、行政、住民参加型福祉サービス団体等	地域における災害時要援護者の避難支援体制づくりに関する講演とパネルディスカッション	神奈川県立保険福祉大学保健福祉学部准教授　中村　美安子氏	無料	57.6%	34.8%	6.1%	1.5%	38	23	4	1	0	
		83	地域福祉コーディネーター＜CSW＞ 養成研修	30	41	30	7/28,29 2/19,20	4	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	地域福祉関係職員、地域包括支援センター関係職員	具体的な事例を通して、コミュニティソーシャルワーク技法を講義と演習形式により習得	（特非）日本地域福祉研究所 日本社会事業大学　准教授　菱沼　幹男　氏 日本地域福祉研究所　主任研究員　青山　登志夫　氏 浦和大学　講師　大島　隆代　氏	15,000円	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	24	6	0	0	0	権利擁護課
		84	日常生活自立支援事業 新任専門員研修課 【新規】	30	34	32	4/13	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	市町社協専門員	専門員としての心構え、基礎的知識の習得	長崎県大村市社会福祉協議会　事務局次長　山下　浩司　氏 島田市社会福祉協議会　主事　杉本　優子　氏	無料	71.9%	21.9%	0.0%	0.0%	23	7	0	0	2	
		85	日常生活自立支援事業 専門員研修会	50	21	19	1/6,7	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル） 三島市民文化会館	市町社協専門員	専門員としての知識、相談援助技法の習得等 ｹｰｽｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	東京都国立市社会福祉協議会　課長　山地　晴義　氏 ふるい後見事務所　社会福祉士　古井　慶治　氏 あさか社会福祉士事務所　社会福祉士	無料	84.2%	5.3%	0.0%	0.0%	16	1	0	0	2	
		86	日常生活自立支援事業 新任生活支援員研修会	60 （各30）	24	24	6/26 2/17	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	市町社協新任生活支援員	日常生活自立支援事業の業務について	(福）静岡県社会福祉協議会生活支援部権利擁護課 富士市社会福祉協議会 上席主事 丸山陽一 氏、生活支援員 時田由美子 氏 小泉美津枝 氏 菊川市社会福祉協議会 地域福祉係長 堀川直樹 氏、生活支援員 伊藤幸次 氏 静岡市支援センター　所長　奥村　敦毅　氏	無料	45.8%	54.2%	0.0%	0.0%	11	13	0	0	0	
		87	日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会	250	130	119	9/29 10/2	2	沼津市立図書館 菊川市総合保健福祉センター	市町社協現任生活支援員	日常生活自立支援事業における相談援助技法について	ふるい後見事務所　社会福祉士　古井　慶治　氏	無料	58.0%	20.2%	1.7%	0.0%	69	24	2	0	24	
		88	生活福祉資金新任担当者研修会	30	33	31	4/22	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社協職員	制度説明・事務取扱い	(福)静岡県社会福祉協議会生活支援部生活支援課	無料	51.6%	41.9%	6.5%	0.0%	16	13	2	0	0	生活支援課
		89	生活福祉資金担当者研修会	60	52	51	5/25	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社協職員	生活困窮者に対する家計再建支援のあり方	（福）静岡県社会福祉協議会生活支援部生活支援課 ｸﾘｰﾝｺｰﾌﾟ連合・共同体生活再生事業推進室 室長 行岡 みち子 氏	無料	58.8%	39.2%	2.0%	0.0%	30	20	1	0	0	
専門技術力を身につける　小計				5,041	4,842	4,045								73.8%	21.7%	1.5%	0.2%	2,878	845	57	9	112	

平成２７年度研修評価表

人間力を高める	倫理	90	コンプライアンス講座	60	42	42	5/13	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	福祉サービス事業従事者が最低限備えておくべき、コンプライアンスの基礎的知識・技能の習得	ふるい後見事務所　社会福祉士　古井　慶治　氏	6,000 (4,000)	83.3%	11.9%	2.4%	0.0%	35	5	1	0	1	研修課
		91	権利擁護・成年後見セミナー （基礎編）	80	68	65	7/7	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所などに勤務する方	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する介護職として必要な権利擁護・成年後見の基礎的知識の習得	ふるい後見事務所　社会福祉士　古井　慶治　氏	5,000 (3,000)	57.4%	32.8%	1.6%	0.0%	35	20	1	0	5	
		92	権利擁護・成年後見セミナー （応用編）	60	49	47	8/5	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する介護職として必要な権利擁護・成年後見の実践的知識の習得	ふるい後見事務所　社会福祉士　古井　慶治　氏	5,000 (3,000)	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	27	18	0	0	0	
	対人関係	93	コミュニケーション技法講座（基礎編）	70	40	40	5/12	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	社会福祉事業従事者を対象とした基礎的なコミュニケーション技法の習得	昭和大学　保健医療学部　講師　大谷　佳子　氏	6,000 (4,000)	79.5%	17.9%	0.0%	0.0%	31	7	0	0	1	
				70	35	33	5/22							71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	22	9	0	0	0	
		94	コミュニケーション技法講座（応用編）	60	22	21	9/11	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方で過去に基礎編を受講した方	社会福祉事業従事者を対象としたコミュニケーション技法の習得	昭和大学　保健医療学部　講師　大谷　佳子　氏	6,000 (4,000)	85.0%	15.0%	0.0%	0.0%	17	3	0	0	0	
		95	接遇・マナー講座（中部）	60	47	46	4/27	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	社会福祉事業従事者に求められる接遇マナーの習得	コミュニケーションハウス　代表　坂倉　裕子　氏	6,000 (4,000)	71.1%	17.8%	0.0%	0.0%	32	8	0	0	5	
			〃　　（東部）	60	34	31	5/19	1	三島商工会議所				6,000 (4,000)	90.3%	3.2%	0.0%	0.0%	28	1	0	0	2	
			〃　　（西部）	60	45	44	6/5	1	浜松市福祉交流センター				6,000 (4,000)	68.9%	24.4%	0.0%	0.0%	31	11	0	0	3	
		96	接遇・マナー講座 （指導者養成編）	70	70	67	7/31	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	福祉、介護サービスの基礎である接遇・マナーの向上に組織的に取り組むための考え方と手法の習得	(株)はあもにい　代表取締役　大野　晴己　氏	6,000 (4,000)	63.0%	29.6%	5.6%	0.0%	34	16	3	0	1	
		97	対人援助職のための「福祉実践力」 基礎講座	60	28	26	2/1	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	社会福祉・対人援助に係る基本的な理念・知識を学び、今後のケアの質の向上に資する。	静岡県立大学短期大学部　社会福祉学科　専任講師　鈴木　俊文　氏	6,000 (4,000)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20	5	0	0	0	
		98	会議力向上講座	60	74	63	6/12	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉事業又は介護保険事業に従事する、主に中堅クラス以上の方	会議をより効果的かつ実りあるものにするための手法を、ファシリテーションの考え方を中心に学ぶ	㈱話し方教育センター　教育本部 教育グループマネージャー　池田　統　氏	6,000 (4,000)	57.4%	29.5%	4.9%	0.0%	35	18	3	0	5	
		99	福祉職のための文章力向上講座	60	67	58	6/16	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	業務記録の他、利用者の家族向けの文書など、福祉職に求められる文章力を身に付ける	居宅介護支援事業所ジョアン　所長　栗倉　敏貴　氏	6,000 (4,000)	58.5%	30.2%	7.5%	0.0%	31	16	4	0	2	
		100	共感を得る「ことば」講座 【新規】	60	114	112	11/5	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」を旨とし、「言葉選び」の重要性を考える	(株)はあもにい　代表取締役　大野　晴己　氏	6,000 (4,000)	64.2%	26.6%	3.7%	0.0%	70	29	4	0	6	
人間力を高める	リフレッシュ	101	福祉職場のストレスマネジメント講座	60	64	62	10/19	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	介護職・福祉職が抱えがちなストレスについて認識し、ストレスを上手にコントロールする方法を学び、心身共に安定した状態になることで、サービスの質の向上を図る	産業カウンセラー キャリアカウンセラー 心理相談員 横山　美弥子 氏	6,000 (4,000)	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	50	10	0	0	0	
		102	福祉職のための腰痛予防・リフレッシュ講座	60	25	24	11/18	1	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	福祉職のストレスケアのための知識・技術の習得	スポーツアロマテラピスト　ASPERGE STUDIO主宰　中野　元惠氏	6,000 (4,000)	91.3%	8.7%	0.0%	0.0%	21	2	0	0	0	
人間力を高める　小計				1,010	824	781								69.8%	23.9%	2.2%	0.0%	519	178	16	0	31	

平成２７年度研修評価表

地域福祉を支える力を身につける	103	小地域福祉活動育成支援研修会	30	28	28	10/15 11/10 11/24,25	4	富士市（大淵地区）	地域福祉関係職員	小地域福祉活動者養成（福祉教育副読本活用）の方法について	愛知教育大学　教授　増田　樹郎　氏	無料	66.7%	26.7%	3.3%	0.0%	20	8	1		1	地域福祉課
	104	法定地区民児協会長研修会 （県民生委員児童委員協議会）	175	151	149	9/28～29	2	つま恋（掛川市）	県民児協会員（法定地区民児協会員）	「児童委員・主任児童委員」に期待する役割 「人間は、誰も同じ誰も違う」 「風の電話」と「森の図書館」の活動	静岡県健康福祉部こども未来局　こども家庭班長　杉本　昌一　氏 静岡大学名誉教授　静岡県人権啓発センター　センター長　角替　弘志　氏 ベルガーディア鯨山主宰　ガーデンデザイナー　佐々木　格　氏	無料	32.5%	44.7%	18.7%	3.3%	40	55	23	4	1	
	105	主任児童委員研修会 （県民生委員児童委員協議会）	120	93	86	1/26	1	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）	県民児協会員（主任児童委員）	『未来ある子どもたちの健やかな育ちを支えるために』～「子どもの貧困」の視点から～	独立型社会福祉事務所 子どもと家族の相談室　寺子屋お～ぷん・どあ　共同代表 （一社）てのひら 代表理事　川口　正義　氏	無料	71.4%	27.3%	1.3%	0.0%	55	21	1	0	0	
	106	災害時要援護者支援シンポジウム （県民生委員児童委員協議会）	100	84	79	12/8	1	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）	県民児協会員	「災害時の支援と民生委員・児童委員の活動」 「民児協における災害への対応に向けた取組」	神奈川県立保健福祉大学　保健福祉学部　准教授　中村　美安子　氏	無料	57.6%	34.8%	6.1%	1.5%	38	23	4	1	0	
	107	相談技法研修会 （県民生委員児童委員協議会）	180	156	153	7/29 7/30 7/31	3	三島商工会議所 グランシップ アクトシティ浜松	県民児協会員	相談面接の基本となる傾聴の基本的なスキルの習得を図る	駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻　准教授　川上　富雄　氏	無料	69.1%	25.0%	5.3%	0.0%	105	38	8	0	1	
	108	地域福祉教育推進セミナー	100	82	74	1/19	1	山口駅前ビル	学校教諭、教育委員会職員、地区社協役員・関係者、社会福祉施設職員、社協職員	地域福祉教育の意義と関係機関との連携の必要性を考える	大阪教育大学准教授　新崎　国広　氏　他	無料	51.1%	40.0%	4.4%	0.0%	23	18	2	0	2	
	109	地域福祉教育当事者講師連絡会	120	60	59	10/27 11/16 11/17	3	プラザヴェルデ（沼津） あざれあ（静岡） 浜松市福祉交流センター（浜松）	市町社協において講師などを協力いただいている方及び市町社協職員	地域で活動している当事者講師間の情報交換等	愛知教育大学　教授　増田　樹郎　氏	無料	60.0%	32.0%	4.0%	0.0%	30	16	2	0	2	
	110	ふれあい・いきいきサロン実践者 研修会	300	151	151	9/14 9/15 9/16	3	プラサ ヴェルデ（沼津） 磐田商工会議所（西部） 県総合社会福祉会館シズウエル（静岡）	サロン運営ボランティア及び社協職員	様々なサロン活動の活性化を図る	静岡福祉大学教授　西尾　敦史氏 池田南ふれあいサロン代表　一ノ宮　とし子氏 （特非）駒越地区社会福祉協議会会長　深澤　俊彦氏 寄り合い処『のぞみ』スタッフ　篠原　まさ美氏 サロンおいでよ平川代表　宮城　君代氏	無料	40.5%	38.1%	2.4%	0.0%	51	48	3	0	24	
	111	社会貢献企業推進セミナー 【新規】	120	60	70	3/16	1	山口駅前ビル	民間企業社員、社協職員	地域における企業の社会貢献活動を推進する	静岡文化芸術大学国際文化学科教授　下澤　嶽氏 CSR・協働コーディネーター　池上　直樹氏 ウエルシア薬局(株)　松下　久美子氏	無料	34.3%	37.1%	2.9%	0.0%	12	13	1	0	9	
	112	福祉の職場体験	—	235	227	4月 ～3月		県内	福祉職に関心のある方、福祉職場に就労を希望する方	福祉の施設体験		無料	55.9%	33.5%	9.4%	0.4%	142	85	24	1	2	人材課
	113	福祉の就職支援セミナー	100	58	57	10/20 11/19	2	静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）	福祉職場に就労を希望する者	・福祉職の大切さと魅力、就職活動の心得について ・求職登録相談コーナー	第一部 「福祉の就職活動の心得」 コーチングアカデミー静岡校校長　酒井　美保　氏 「これってあり？知って役立つ労働法」 静岡労働局総務部企画室　企画室長　赤池　義規　氏 第2部 「福祉職場からのメッセージ」（第3部出展事業所職員より） 第3部 「福祉のミニ就職相談会」福祉事業所との個別相談会	無料	59.5%	26.2%	0.0%	0.0%	25	11	0	0	6	
	114	静岡県の 保育士さん就職応援セミナー	50	14	12	12/22	1	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）	保育士資格を有している又は保育士資格取得見込みの静岡県内在住の方	保育士養成学校の大学の先生による講演を中心とした就職・復職応援セミナー 「実践記録の書き方をマスターしよう」等	静岡英和学院大学人間社会学部　准教授　永田　恵美子　氏 静岡県健康福祉部こども未来課　主事　栗田　みず穂　氏	無料	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	8	4	0	0	0	研修課
			50	10	7	1/12	1	ふじのくに千本松フォーラム（プラサヴェルデ）		保育士養成学校の大学の先生による講演を中心とした就職・復職応援セミナー 「もう悩まない！指導案の基本から復習しよう!!」等	静岡県立大学短期大学部　専任講師　山本　学　氏 静岡県健康福祉部こども未来課　主事　栗田　みず穂　氏	無料	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	3	1	1	0	1	
			50	10	8	1/25	1	浜松市福祉交流センター		保育士養成学校の大学の先生による講演を中心とした就職・復職応援セミナー 「幼児期における運動遊びの重要性」等	浜松学院大学現代コミュニケーション学部子どもコミュニケーション学科 教授　酒井　俊郎　氏 静岡県健康福祉部こども未来課　主事　栗田　みず穂　氏	無料	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	4	4	0	0	0	
		静岡市の 保育士さん就職応援セミナー	50	48	44	11/24	1	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）	保育士資格を有している（保育士未登録者を含む）又は保育士資格取得見込みの方	保育士養成学校の大学の先生による講演を中心とした就職・復職応援セミナー 「子どもたちの姿に見る保育内容「表現」と手遊び歌」	静岡県立大学短期大学部　専任講師　山本　学　氏	無料	70.5%	25.0%	2.3%	2.3%	31	11	1	1	0	
			50	12	9	12/15	1	静岡市東部勤労者福祉センター（清水テルサ）		保育士養成学校の大学の先生による講演を中心とした就職・復職応援セミナー 「保育者にとっての絵本とは何か」	静岡英和学院大学人間社会学部　准教授　鈴木　正和　氏	無料	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	7	2	0	0	0	
地域福祉を支える力を身につける　小計			1,595	1,252	1,213								55.1%	33.2%	6.6%	0.6%	594	358	71	7	49	
合計			12,492	12,036	10,816								67.5%	25.0%	2.2%	0.4%	5,285	1,957	174	32	386	

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670

静岡市葵区駿府町 1-70

TEL　054-254-5248　　FAX　054-251-7508

平成２８年５月